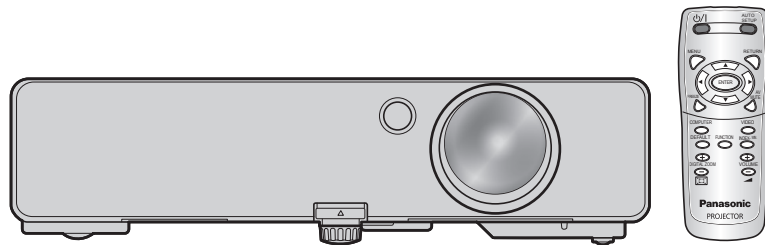


取扱説明書 基本編

液晶プロジェクター **業務用**

品番 PT-LB3
PT-LB2V
PT-LB1V



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に『安全上のご注意』（※ 4～7ページ）を必ずお読みください。
- ネットワークの操作に関しては、『ネットワーク操作説明編』をお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

ランプ交換サイクルの長寿命化

従来機種より、ランプ交換サイクルを長時間化しました。(👉 48 ページ)

約 3 000 時間 (PT-LB90NT)



約 5 000 時間
(PT-LB3/LB2V/LB1V)

待機電力削減

従来機種より、待機電力を約 1/2 に削減しました。

約 0.6 W (PT-LB90NT)



約 0.3 W (PT-LB3/LB2V/LB1V)
(スタンバイモード：「エコ」設定時)

ユーザーロゴ表示機能

会社のロゴマークなどユーザー独自の映像を、スタート時に投写することができます。(👉 36 ページ)

■投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(👉 15 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
(👉 17 ページ)



3. 電源コードを接続する
(👉 19 ページ)



4. 電源を入れる
(👉 21 ページ)



5. 投写する映像を選択する
(👉 23 ページ)



6. 映り具合を調整する
(👉 23 ページ)

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意	4
---------	---

はじめに

ご使用になる前に	8
運搬上の留意点	8
設置に関する留意点	8
セキュリティに関するお願い	8
使用上の留意点	9
廃棄について	9
付属品の確認	10
はじめにお読みください	11
各部の名称とはたらき	12
本体	12
リモコン	14

準備

設置する	15
投写画面サイズと設置位置	15
投写方式	16
アジャスター脚による投写角度調整	16
接続する	17
接続の前に	17
Sビデオ/ビデオ入力端子の接続 (例)	17
コンピューター入力端子の接続 (例)	18

基本的な使い方

電源を入れる / 切る	19
電源コードの接続	19
電源モニターについて	20
電源を入れる	21
電源を切る	22
投写する	23
投写する映像を選択する	23
映像の映り具合を調整する	23
リモコンで操作する	24
映像を一時的に静止させる	24
映像・音声を一時的に消す	24
入力信号を切り換える	24
表示位置を自動補正する	25
出荷状態に戻す	25
音量を調整する	25
インデックスウィンドウで表示する	25
映像を拡大する	26
ファンクションボタンを使用する	26

調整と設定

オンスクリーンメニューについて	27
メニュー画面の操作方法.....	27
オンスクリーンメニュー.....	28
メインメニュー.....	28
サブメニュー.....	28
「映像調整」メニューについて	30
映像モード.....	30
コントラスト.....	30
明るさ.....	30
色の濃さ.....	30
色あい.....	30
シャープネス.....	30
ホワイトバランス.....	30
色温度設定.....	30
デイトライトビュー.....	31
ノイズリダクション.....	31
TVシステム.....	31
RGB/YPbPr.....	31
「位置調整」メニューについて	32
リアルタイム台形補正.....	32
台形補正.....	32
シフト.....	32
ドットクロック.....	32
クロックフェーズ.....	32
オーバースキャン.....	33
アスペクト.....	33
フレームロック.....	34
「表示言語」メニューについて	35
「表示オプション」メニューについて	36
オンスクリーン表示.....	36
スタートアップロゴ.....	36
自動位置補正.....	37
入力検出.....	37
バックカラー.....	37
ワイドモード.....	37
SXGAモード.....	37
その他の機能.....	38
「プロジェクター設定」メニューについて	39
ステータス.....	39
無信号自動オフ.....	39
起動方法.....	39
設置方法.....	39
高地モード.....	39
スタンバイモード.....	40
ランプパワー.....	40
ランプ使用時間.....	40

エミュレート.....	40
ファンクションボタン.....	41
音声設定.....	41
テストパターン.....	42
全設定初期化.....	42
「セキュリティ」メニューについて	43
パスワード設定.....	43
パスワード変更.....	43
テキスト設定.....	43
テキスト変更.....	43
メニューロック.....	44
メニューロックパスワード.....	44
操作設定.....	44
「ネットワーク」メニューについて	45

点検とお手入れ

ランプモニター、温度モニター	46
モニターが点灯したら.....	46
お手入れ / 部品交換	47
お手入れ / 部品交換の前に.....	47
お手入れ.....	47
部品交換.....	48
故障かな!?	51

その他

付録	52
対応信号リスト.....	52
シリアル端子について.....	53
メニューロックパスワードについて.....	54
仕様	55
保証とアフターサービス	57
用語について	58
天つり金具取り付け時の注意事項	59
後方アジャスター脚の スペーサー取り外しについて	60
さくいん	61
外形寸法図	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気を付けていただく内容です。



警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき。
- 落下などで外装ケースが破損したとき。
- 煙や異臭、異音が発生したとき。

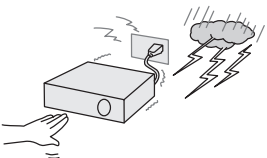
そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

- ▶ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- ▶ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。
- ▶ 使用を中止し、電源プラグを抜いたあと、販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止

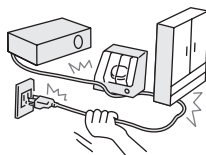


感電の原因になります。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止



- 加工したり、傷つけたりしない。
- 引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたり、束ねたりしない。
- 熱器具に近づけたり、重いものを載せたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- ▶ コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 付属の電源コード以外は使用しない



禁止

付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になります。

■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる



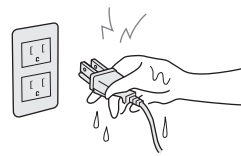
電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ▶ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ▶ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

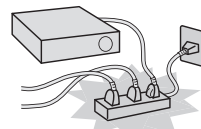


感電の原因になります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



禁止



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

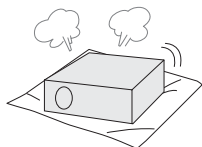
警告

ご使用・設置について

■放熱を妨げない



禁止



- 布や紙などの上に置かない。(吸気孔に吸着する場合があります。)
 - 押し入れ、本棚など風通しが悪く狭い所に押し込まない。
- 内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

■排気孔には手やものを近づけない



禁止

- 手や顔を近づけない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。
- 指を入れるとけがの原因になります。

排気孔からは熱風がでているため、やけどや変形の原因になります。

■カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない



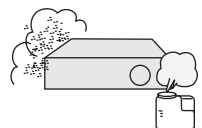
禁止

内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止



火災・感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。

■水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない



禁止



- 機器の上に、水などの液体の入った容器を置かない。

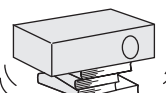
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- ▶ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
- ▶ 特にお子様にはご注意ください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止



落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故・けがの原因になります。

■使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。

- ▶ 使用中に本機から離れる場合は電源プラグを抜いてください。
- ▶ 特にお子様にはご注意ください。

■付属のレンズキャップを取り付けたまま投写しない



禁止

火災の原因になることがあります。

■異物を入れない



禁止



- 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。

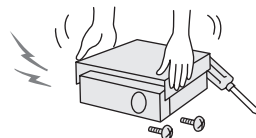
ショートによる火災・感電の原因になります。

- ▶ 特にお子様にはご注意ください。

■分解したり、改造したりしない



分解禁止



内部には電圧の高い部分があるため、火災・感電の原因になります。

<p>警告</p>	
<p>高圧注意</p>	
	<p>サービスマン以外の方はケースをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。</p>

「本体に表示した事項」

- ▶ 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■天井取り付け(天つり)などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する



工事の不備があると、事故の原因になります。

■当社で指定した天つり金具を使用する




天つり金具に不備があると、事故の原因になります。


警告

付属品・消耗品について


- ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く

 電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。電源プラグを抜く


- ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待ってから）行う

 カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

- ランプユニットを分解しない

 ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。
禁止

- 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない

 付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。
禁止

- 電池は誤った使い方をしない



禁止



- 指定された電池以外は使用しない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- +と-を針金などで接続しない。
- +と-を逆に入れない。
- ネックレスやヘアピンなど、金属が使用されているものと一緒に保管しない。
- 新・旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。
- マンガン乾電池以外は使用しない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。(電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。)

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

- 電池の液がもれたときは、素手で液をさわらない



禁止



- 液が目に入ったら目をこすらない。

失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。

- ▶ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

- 単4形乾電池とスペーサーは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。


禁止

- ▶ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

電源について

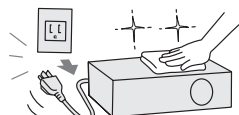
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

 電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。電源プラグを抜く

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

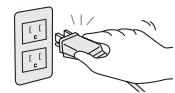
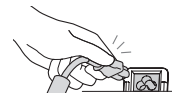


電源プラグを抜く



感電の原因になることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクタを持って抜く



コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

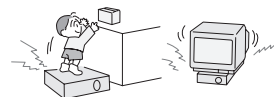
⚠ 注意

ご使用・設置について

■本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない



禁止

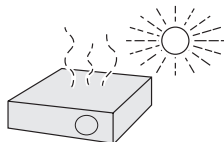


バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。

■異常に温度が高くなる所に置かない



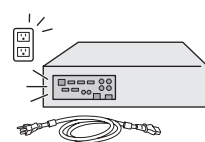
禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- ▶ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

■移動させる場合は、必ず接続線を外す



コードの破損などにより、火災・感電の原因になることがあります。

付属品・消耗品について

■古いランプユニットは使用しない



禁止

- 使用時間を超えたランプユニットは使用しない。

そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。

- ▶ ランプユニットは消耗部品です。

■ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない



禁止

散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。

- ▶ 直ちに換気を行ってください。
- ▶ 万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ▶ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
- ▶ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す



電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

お手入れについて

■1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する



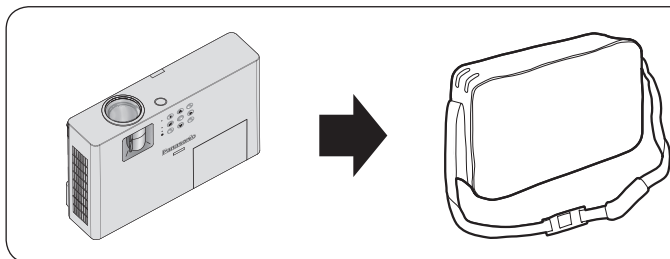
本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。

- ▶ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
- ▶ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。
- 持ち運びの際は、必ずレンズキャップを取り付けて、付属のキャリングバッグを利用してください。
 - ・ キャリングバッグには、本体のレンズを上側にして収納してください。
 - ・ 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時には特にご注意ください。



本体、ケーブルおよびリモコン以外は入れないようにしてください。


アジャスター脚を伸ばした状態で収納しないでください。破損するおそれがあります。

設置に関する留意点

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』 56 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 海拔 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オン」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 1 400 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オフ」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。（ 43 ページ）

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

使用上の留意点

美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気が回り込むような設置がないように注意してください。
- 高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

投写レンズは素手でさわらないでください

指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また、本機を使用しないときは、必ず付属のレンズキャップを取り付けておいてください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合はテストパターンの中にある全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏向板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にとまなない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 10 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万が一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。

注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

ご使用になる前に (つづき)

付属品の確認

下図の付属品が入っていることを確認してください。

<p>リモコン：1 個 (N2QAYA000011)</p> 	<p>電源コード：1 本 (2 m) (K2CA2YY00106)</p> 	<p>RGB 信号ケーブル：1 本 (1.8 m) (K1HY15YY0009)</p> 
<p>リモコン用単 4 形乾電池：2 個</p> 	<p>電源コード抜け防止カバー：1 個 (TTRA0185)</p> 	<p>レンズキャップ：1 個 (TKKL5499)</p>  <p>(お買い上げ時は、製品本体に装着されています。)</p>
<p>リモコン用単 4 形乾電池：2 個</p> 	<p>CD-ROM：1 枚 (TXFQB02VKN5)</p> 	<p>キャリングバッグ：1 個 (TPEP033)</p> 

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

はじめにお読みください

本機をご購入後、初めて電源を入れたとき、および「全設定初期化」(☞ 42 ページ) を実行した場合、「言語設定」と「初期設定」のメニュー画面が表示されます。

ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。

それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

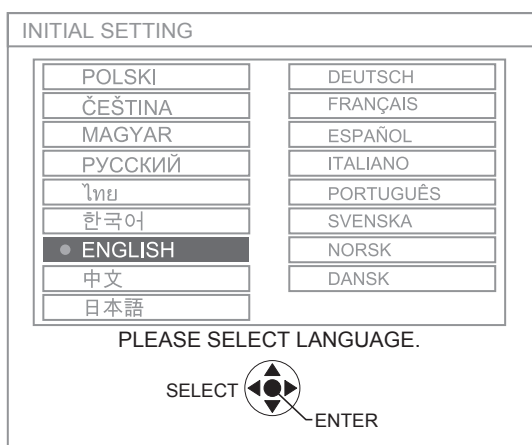
お知らせ

- 初回使用の際は、メニュー画面をはっきり表示させるため、本体上面の「ズームリング」、「フォーカスリング」(☞ 12 ページ) での調整が必要になる場合があります。
詳しくは『映像の映り具合を調整する』をご覧ください。(☞ 23 ページ)

■ 言語設定

オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。(☞ 35 ページ)

1) ▲▼◀▶ ボタンで表示言語を選ぶ



2) <ENTER> ボタンを押し、次の初期設定を行います

■ 初期設定

「設置方法」と「高地モード」で項目内の選択をしてください。

1) ▲▼ ボタンで項目を選ぶ

2) ◀▶ ボタンで「設置方法」の設定と「高地モード」を切り換える



● 設置方法 (☞ 16、39 ページ)

フロント/ 床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント/ 天つり	スクリーン前方にある天つり金具(別売品)を使用して設置する場合
リア/ 床置き	スクリーン後方(透過式スクリーン使用)にある机の上などに設置する場合
リア/ 天つり	スクリーン後方(透過式スクリーン使用)に天つり金具(別売品)を使用して設置する場合

● 高地モード (☞ 8、39 ページ)

オフ	通常的环境(海拔 1 400 m 未満)で使用する場合
オン	高地(海拔 1 400 m 以上~ 2 700 m 未満)で使用する場合

3) <ENTER> ボタンを押すと設定が終了します

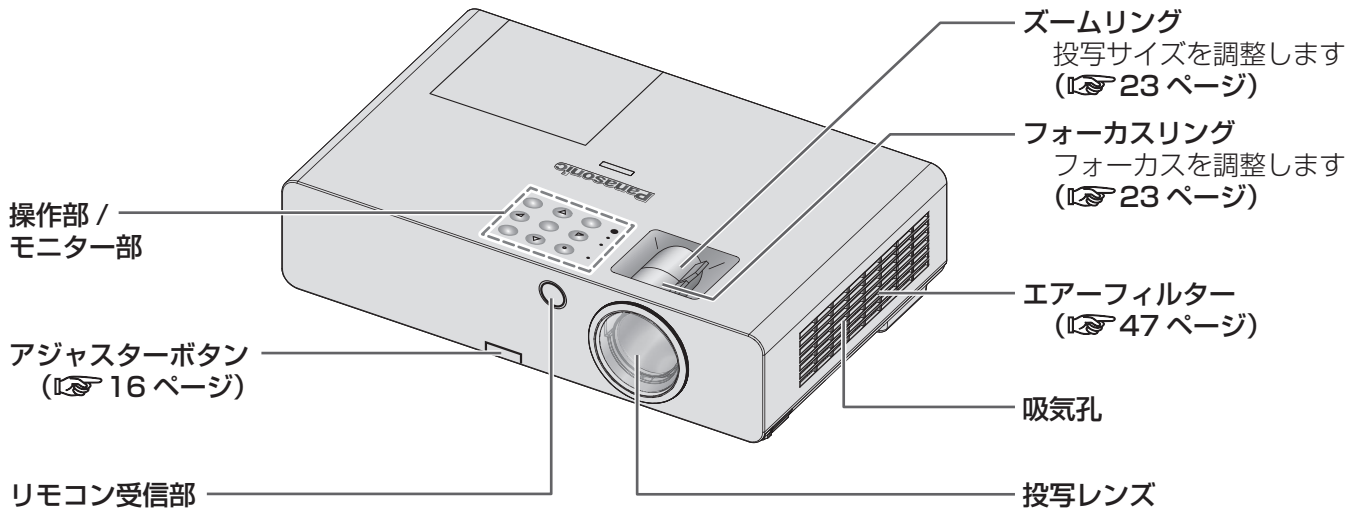
お知らせ

- 「初期設定」メニューで <RETURN> ボタンを押すと、「言語設定」メニューに戻ることができます。

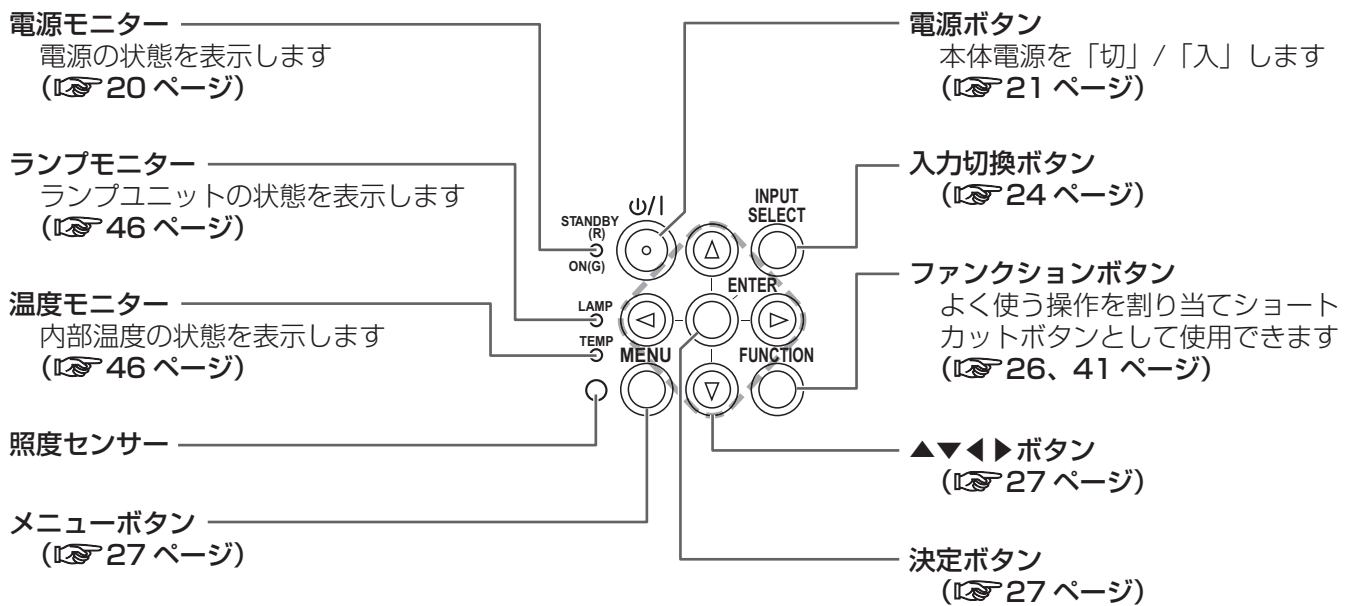
各部の名称とはたらき

本体

■ 前面・上面・右側面

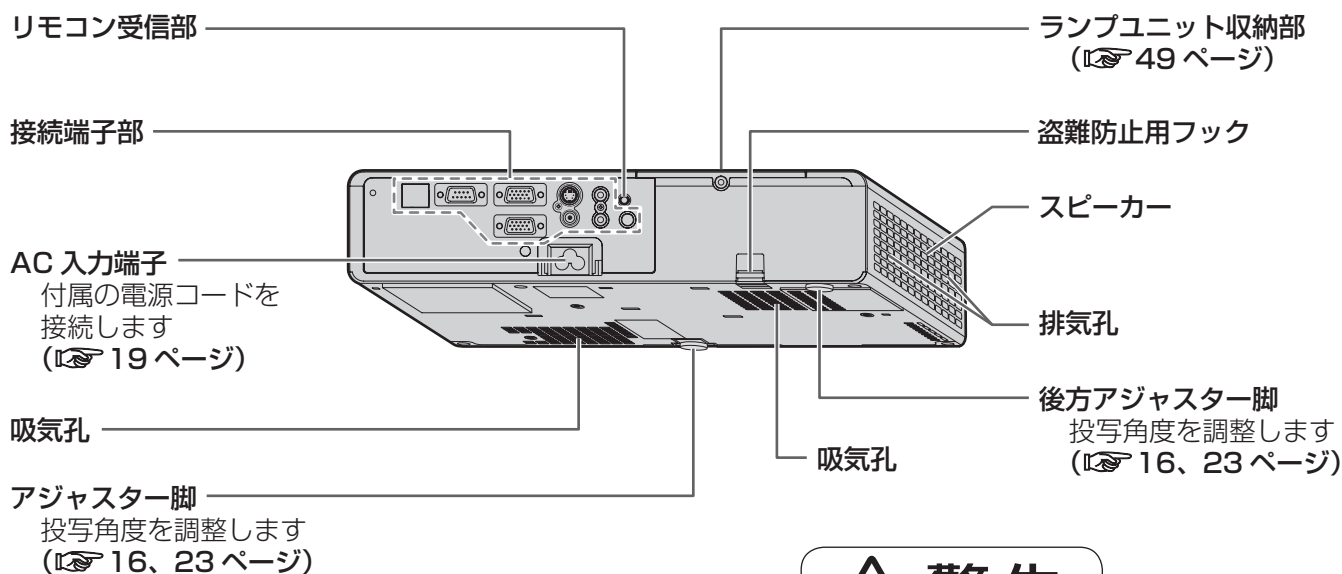


■ 操作部 / モニター部



はじめに

■後面・底面・左側面



警告

■排気孔には手やものを近づけない



禁止

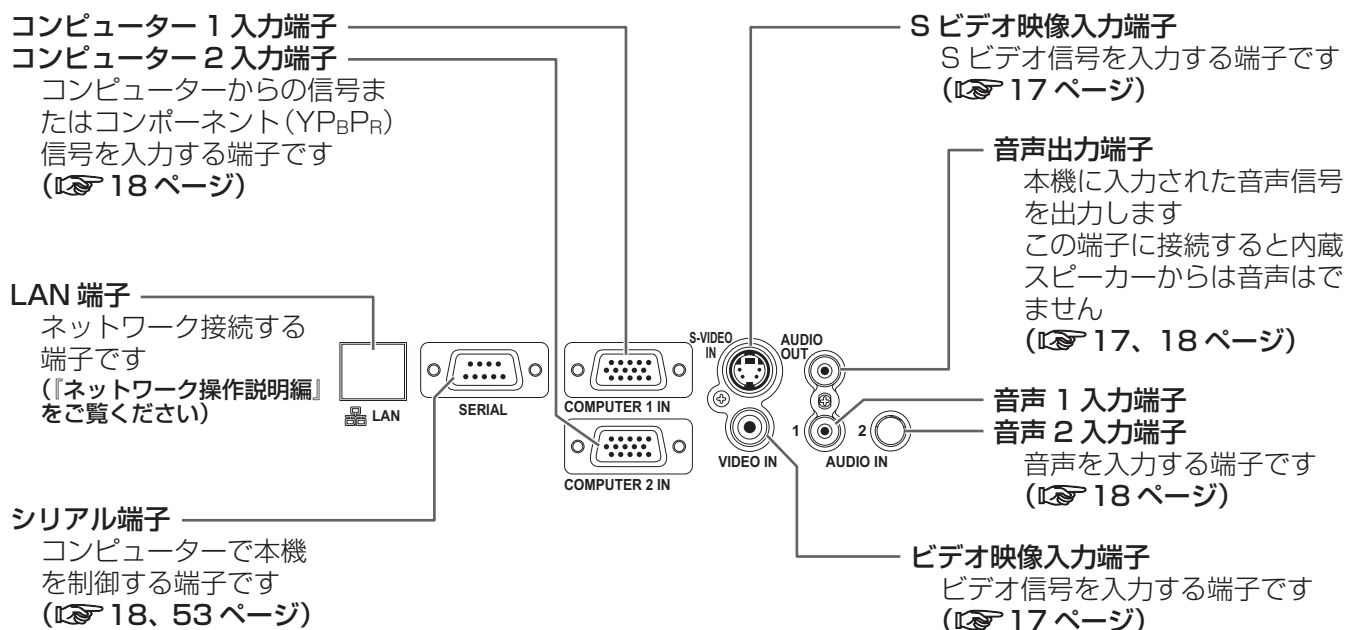
- 手や顔を近づけない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。
- 指を入れるとけがの原因になります。

排気孔からは熱風がでているため、やけどや変形の原因になります。

お願い

- 付属以外の電源コードは接続しないでください。
- 吸気孔、排気孔は、ふさがないようにしてください。

■接続端子部

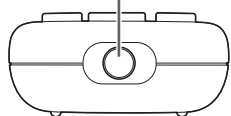


各部の名称とはたらき (つづき)

リモコン

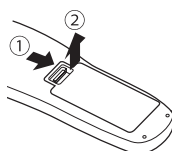
■天面

リモコン発信部

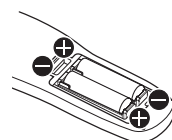


リモコンの電池の入れ方

ふたを開ける



電池を入れ、ふたを閉める
(●側から先に入れます)



■正面

本体の電源プラグを入れた状態で
電源を「切」/「入」する
(☞ 21、22 ページ)

メニューを表示する
(☞ 28 ページ)

映像を一時的に静止させる
(☞ 24 ページ)

投写する入力信号を選択する
(☞ 24 ページ)

サブメニューの調整値を
工場出荷状態に戻す
(☞ 25 ページ)

よく使う操作を割り当て、ショー
トカットボタンとして使用する
(☞ 26、41 ページ)

映像を拡大する
(☞ 26 ページ)

コンピューター信号を入力時に
映像を投写しながらこのボタ
ンを押せば、「シフト」、「ドットク
ロック」、「クロックフェーズ」
を自動補正する
(☞ 25 ページ)

メニュー画面操作に使用する
(☞ 27 ページ)

映像と音声を一時的に消す
(☞ 24 ページ)

静止画像と動画の2画面表示を
する
(☞ 25 ページ)

内蔵スピーカーまたは音声出力
の音量を調整する
(☞ 25 ページ)

お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンの電池には、種類の違うものや、新・旧を一緒にしないで、マンガン乾電池をご使用ください。

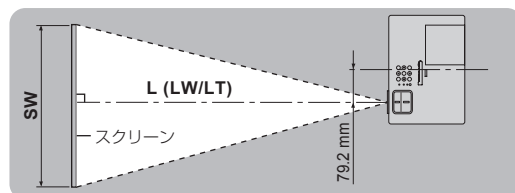
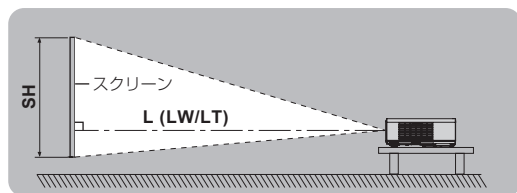
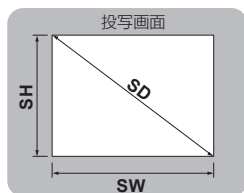
お知らせ

- リモコンを直接、本機の前面 / 後面のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 7 m 以内でご使用ください。また、上下左右に ± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。リモコンからの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより操作有効範囲に制限がでる場合があります。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作ができなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

設置する

投写画面サイズと設置位置

本機は、1.2倍ズームレンズの採用により、投写画面サイズの調整ができます。投写する画面サイズと投写距離を確認し設置位置を決定してください。



(下記の表の寸法は若干の誤差があります)

投写画面サイズ 対角 (SD)	アスペクト 4 : 3 の場合				アスペクト 16 : 9 の場合			
	最短投写距離 (LW)		最長投写距離 (LT)		最短投写距離 (LW)		最長投写距離 (LT)	
	PT-LB3	PT-LB2V/ PT-LB1V	PT-LB3	PT-LB2V/ PT-LB1V	PT-LB3	PT-LB2V/ PT-LB1V	PT-LB3	PT-LB2V/ PT-LB1V
33型 (0.84 m)	—	—	1.1 m	1.1 m	—	—	1.2 m	1.3 m
40型 (1.02 m)	1.1 m	1.2 m	1.4 m	1.4 m	1.3 m	1.3 m	1.5 m	1.5 m
50型 (1.27 m)	1.4 m	1.5 m	1.7 m	1.8 m	1.6 m	1.6 m	1.9 m	1.9 m
60型 (1.52 m)	1.7 m	1.8 m	2.1 m	2.1 m	1.9 m	1.9 m	2.3 m	2.3 m
70型 (1.78 m)	2.0 m	2.1 m	2.4 m	2.5 m	2.2 m	2.3 m	2.6 m	2.7 m
80型 (2.03 m)	2.3 m	2.4 m	2.8 m	2.8 m	2.5 m	2.6 m	3.0 m	3.1 m
90型 (2.29 m)	2.6 m	2.7 m	3.1 m	3.2 m	2.9 m	2.9 m	3.4 m	3.5 m
100型 (2.54 m)	2.9 m	3.0 m	3.5 m	3.5 m	3.2 m	3.3 m	3.8 m	3.9 m
120型 (3.05 m)	3.5 m	3.6 m	4.2 m	4.3 m	3.8 m	3.9 m	4.6 m	4.7 m
150型 (3.81 m)	4.4 m	4.5 m	5.2 m	5.3 m	4.8 m	4.9 m	5.7 m	5.8 m
200型 (5.08 m)	5.8 m	6.0 m	7.0 m	7.1 m	6.3 m	6.6 m	7.6 m	7.8 m
250型 (6.35 m)	7.3 m	7.5 m	8.7 m	8.9 m	7.9 m	8.2 m	9.5 m	9.7 m
300型 (7.62 m)	8.7 m	9.0 m	10.5 m	10.7 m	9.5 m	9.9 m	11.5 m	11.7 m

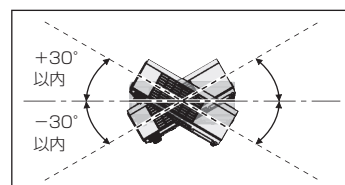
上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とすると、

		アスペクト 4 : 3 の場合	アスペクト 16 : 9 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)		= SD × 0.0152	= SD × 0.0125
投写画面サイズ 幅 (SW)		= SD × 0.0203	= SD × 0.0221
最短投写距離 (LW)	PT-LB3	= 0.0292 × SD - 0.025	= 0.0318 × SD - 0.011
	PT-LB2V/PT-LB1V	= 0.0302 × SD - 0.035	= 0.0330 × SD - 0.041
最長投写距離 (LT)	PT-LB3	= 0.0351 × SD - 0.033	= 0.0383 × SD - 0.035
	PT-LB2V/PT-LB1V	= 0.0358 × SD - 0.035	= 0.0391 × SD - 0.040

お願い

- 美しい映像をご覧いただくためには、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください。故障の原因になります。本機を傾けて設置する場合は、上下方向に± 30度以内、左右方向に± 10度以内にしてください。上下方向に± 30度以上立てたり、左右方向に± 10度以上傾けたりした状態で使用すると部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。
- 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 50 cm 以上離して設置してください。

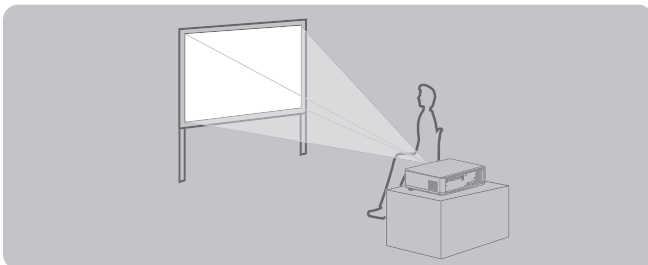


設置する (つづき)

投写方式

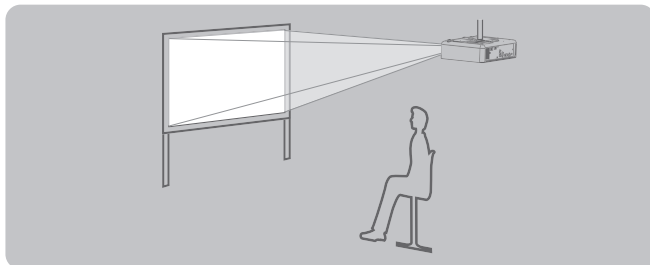
本機は、下図の4通りの投写方式が選択可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。投写方式の設定は『「プロジェクター設定」メニューについて』の『設置方法』をご覧ください。(👁️ 39 ページ)

■ 床置きで前方に投写する場合



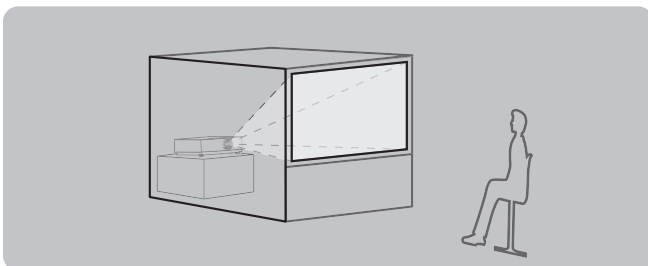
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 床置き

■ 天つり設置で前方に投写する場合



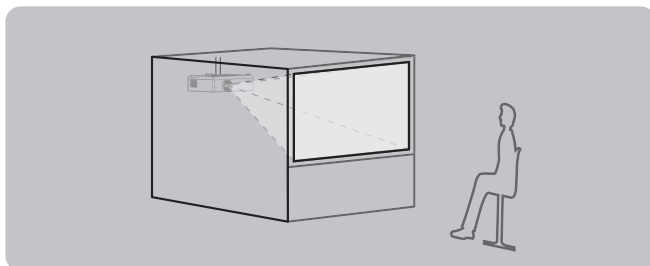
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 天つり

■ 床置きで後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 床置き

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



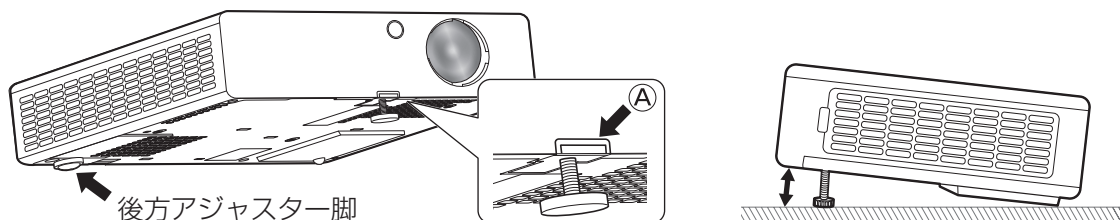
メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 天つり

お知らせ

- 天つり設置には、別売りの天つり金具が必要です。
品番：ET-PKB2

アジャスター脚による投写角度調整

アジャスターボタン①を押しながら、上下方向に投写角度を調整します。(👁️ 23 ページ)



お願い

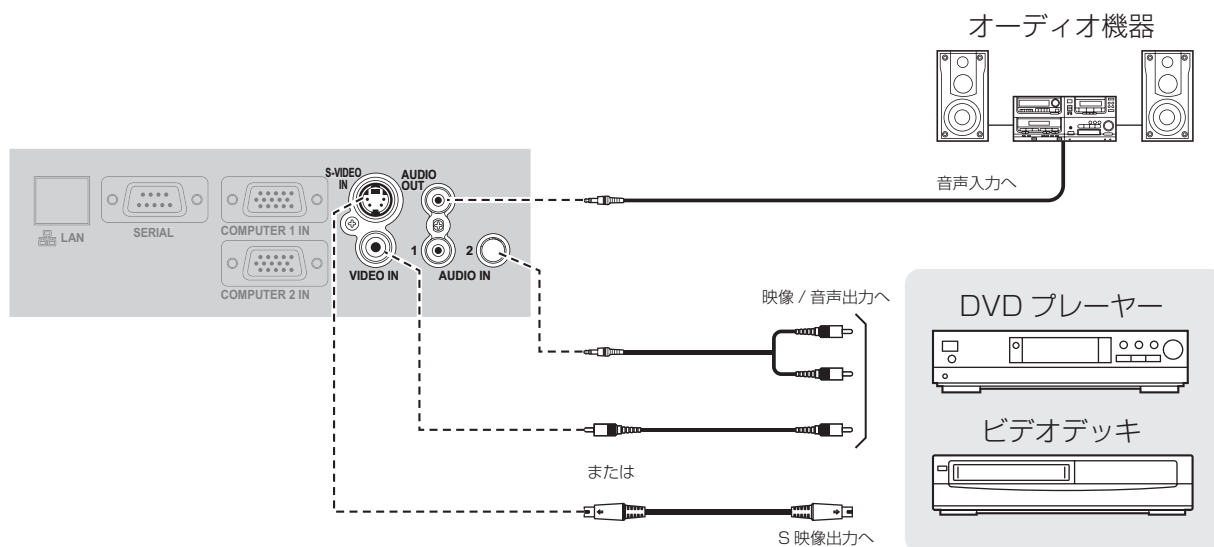
- 排気孔からは熱風がでています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。
- 投写映像が左右に傾いているときは、後方アジャスター脚を回して、本機の傾きを調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」で調整を行ってください。(👁️ 32 ページ)

接続する

接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機が投写できる映像信号については、『対応信号リスト』をご覧ください。（👉 52 ページ）

S ビデオ / ビデオ入力端子の接続（例）

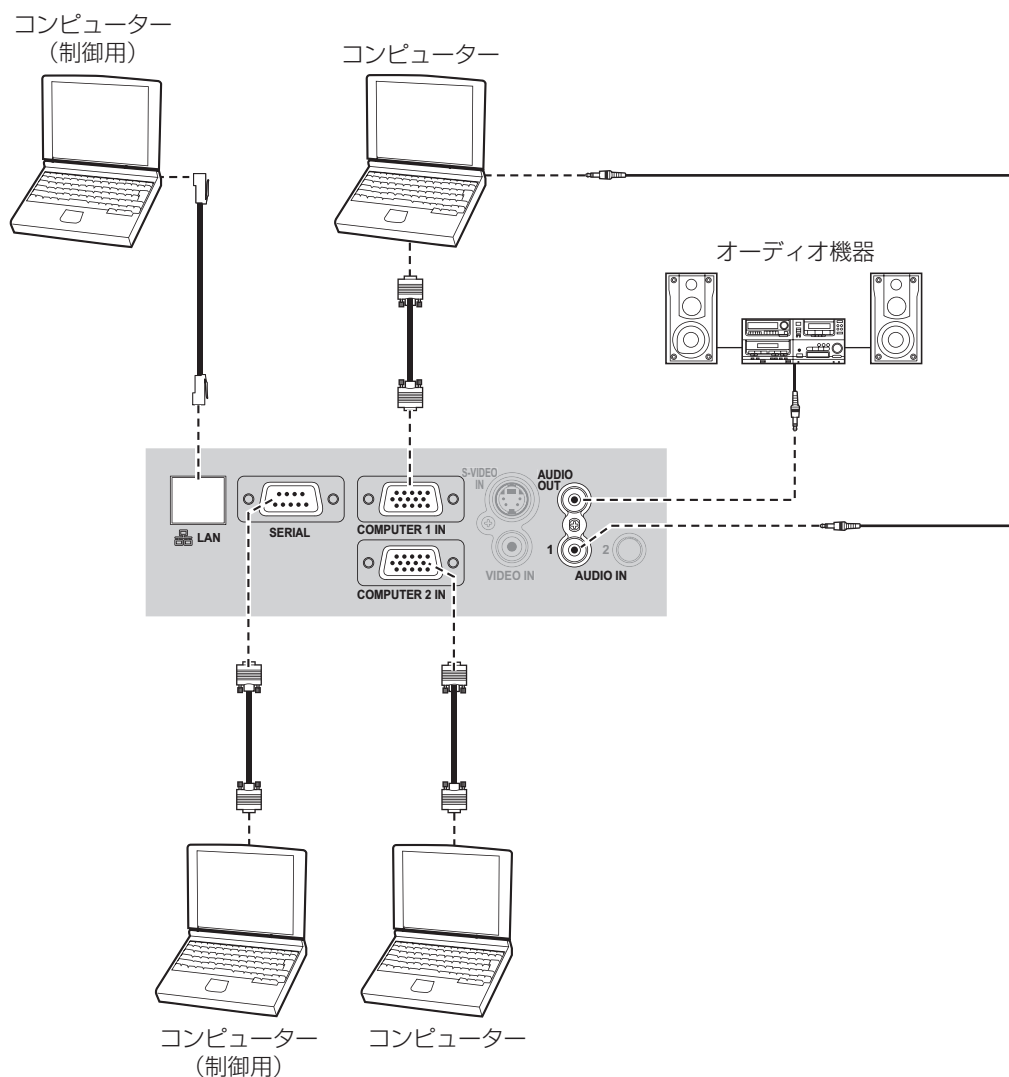


準備

お知らせ

- S ビデオ / ビデオ用音声入力端子は、1 系統です。複数の機器を接続される場合は、差し替えてご使用ください。
- 各種接続ケーブルは付属していません。市販品を使用してください。

コンピューター入力端子の接続 (例)



お願い

- RGB 信号ケーブルを接続する際は、D-Sub (15 ピン) コネクタの固定ねじを確実に締め付けてください。

お知らせ

- 本機とコンピューターのネットワーク通信については、『ネットワーク操作説明編』をご覧ください。
- RGB 信号ケーブル (1 本) 以外は付属していません。各種必要なケーブルは、市販品を使用してください。

電源を入れる / 切る

電源コードの接続

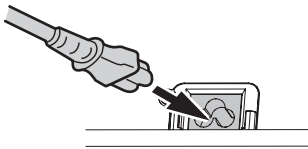
電源コードの抜けを防止するため、付属の「電源コード抜け防止カバー」で電源コードと本体を必ず固定してください。

付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。

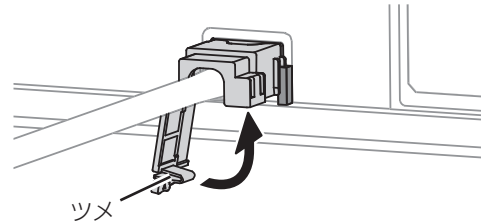
取り扱いについて詳しくは『安全上のご注意』をご覧ください。(👉 4～7 ページ)

■ 取り付け方

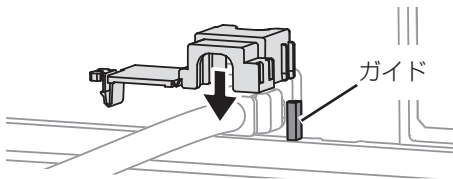
- 1) 本機後面の AC 入力端子 (AC IN ~) と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む



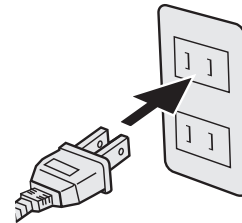
- 3) 「電源コード抜け防止カバー」のツメがカチッと音がするまで押し込み取り付ける



- 2) 本機 AC 入力端子部の上からガイドに沿って、「電源コード抜け防止カバー」を取り付ける



- 4) 電源プラグをコンセントに差し込む

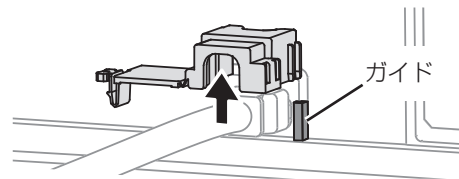
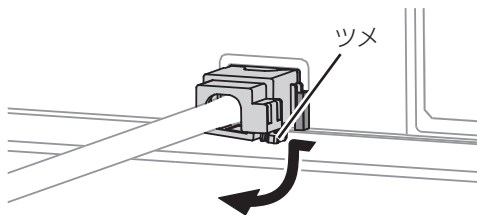


■ 取り外し方

- 1) 電源ボタンの〈電源モニター〉が赤色に点灯または点滅していることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

- 3) 「電源コード抜け防止カバー」を本機 AC 入力端子部のガイドに沿って上に取り外す

- 2) 「電源コード抜け防止カバー」のツメを押し下げて外す



- 4) 本機の AC 入力端子 (AC IN ~) から電源コードのコネクターを抜く

■ ダイレクトパワーオフ機能

本機は、映像を投写中に電源プラグを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転し、ランプの冷却を行います。

お願い

- 〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯している間は、キャリングバッグ等に入れないでください。

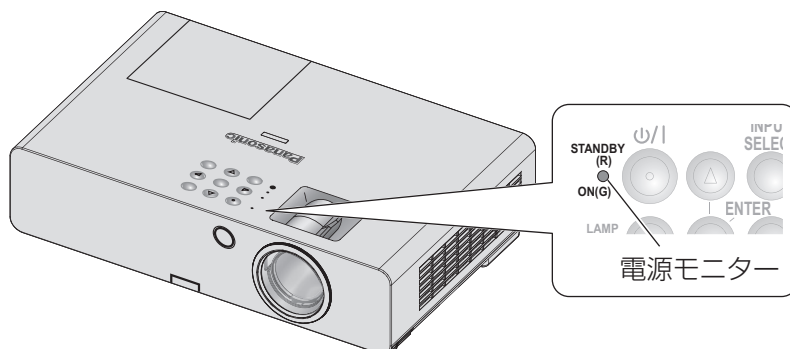
■ ダイレクトパワーオン機能

「プロジェクター設定」メニューの「起動方法」を「オンスタート」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(👉 39 ページ)

電源を入れる / 切る (つづき)

電源モニターについて

電源の状態を表示します。〈電源モニター〉の状態をよく確認し、操作してください。



■電源モニター

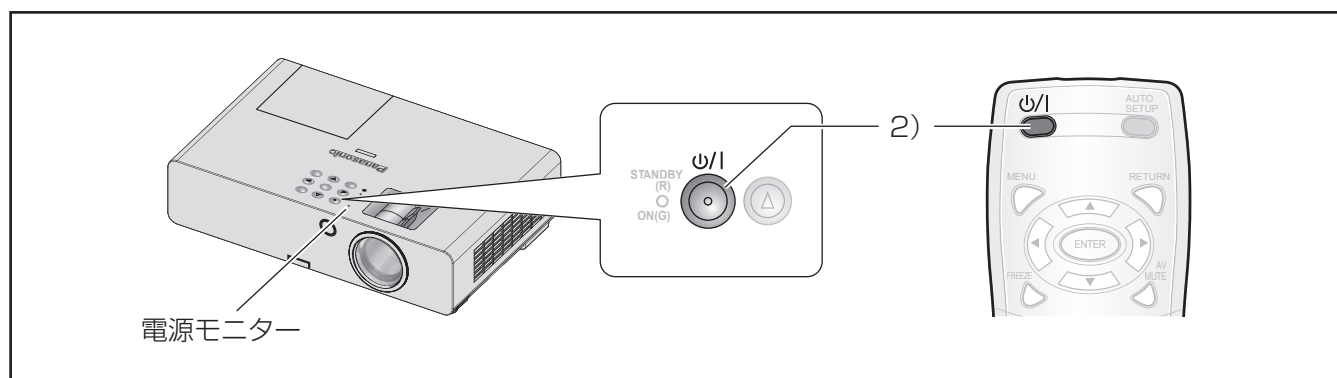
点灯状況		本機の状態
消灯		電源プラグが接続されていない状態
赤色	点灯	電源オフ状態 (スタンバイモード「エコ」状態) 電源ボタンを押すと投写を開始します ※〈温度モニター〉点滅時は動作しません (☞ 46 ページ)
	点滅	電源オフ状態 (スタンバイモード「ノーマル」状態) 電源ボタンを押すと投写を開始します ※〈温度モニター〉点滅時は動作しません (☞ 46 ページ)
緑色	点滅	投写準備状態 しばらくすると映像を投写します
	点灯	投写状態
オレンジ色	点灯	電源オフ準備状態 しばらくすると電源オフ状態 (スタンバイ状態) になります
	点滅	電源オフ準備状態中に電源ボタンを押した状態 しばらくすると映像を投写します

お知らせ

- 電源オフ準備状態 (〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯) は、内部ファンが回転し、本機を冷却しています。
- 電源オフ準備状態中に電源ボタンを押すと、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態 (スタンバイモード「エコ」状態で〈電源モニター〉が赤色に点灯) でも約 0.3 W の電力を消費しています。

電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続を確認し (👉 17 ページ)、あらかじめレンズキャップを外してください。



1) 本機に電源コードを接続する (👉 19 ページ)

しばらくすると〈電源モニター〉が赤色に点灯または点滅します。

2) 電源ボタンを押す

〈電源モニター〉が緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、「スタートアップロゴ」が投写されます。

- 「スタートアップロゴ」については『「表示オプション」メニューについて』の『スタートアップロゴ』をご覧ください。(👉 36 ページ)

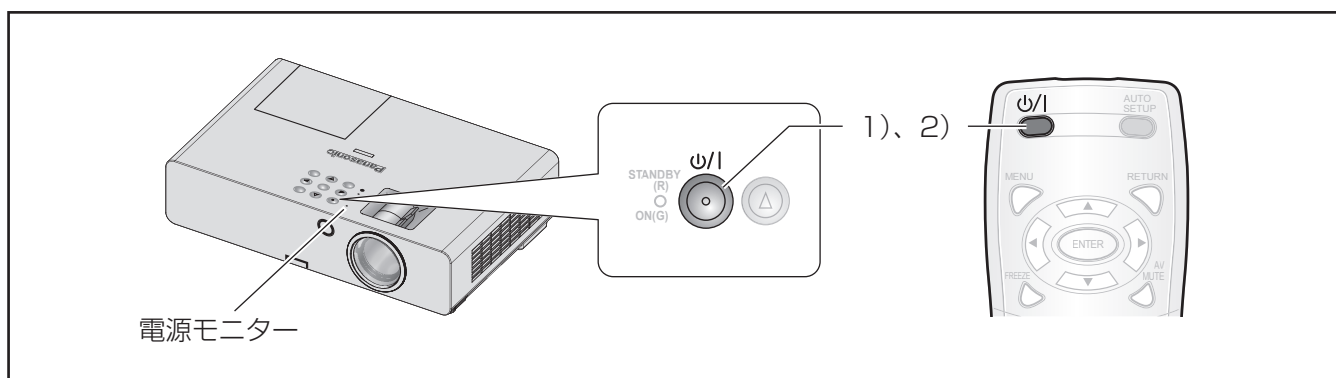
お知らせ

- 「セキュリティ」メニューで、「操作設定」の「**本体操作部**」(本体で操作する場合)または「**リモコン**」(リモコンで操作する場合)が「有効」になっていることを確認してください。(👉 44 ページ)
「セキュリティ」メニューを設定する場合はパスワードの入力が必要です。(👉 43 ページ)
- ランプ点灯時に“チリチリ”という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時には、動作音が大きくなります。
- 「プロジェクター設定」メニューの「**起動方法**」を「オンスタート」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(👉 39 ページ)
- ランプ消灯直後に再び点灯を行った場合、ランプの特性上投写開始後少しの間、映像がちらつく場合がありますが、これは故障ではありません。

電源を入れる / 切る (つづき)

電源を切る

〈電源モニター〉の状態をよく確認し、操作してください。(☞ 20 ページ)



1) 電源ボタンを押す

画面に電源オフ確認画面が表示されます。

- 電源ボタン以外のボタンを押すか、約 10 秒たつと「電源オフ」確認画面が消えます。

2) もう一度、電源ボタンを押す

ランプが消え、映像の投写が停止します。

- 冷却ファンは回転したまま〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯します。〈電源モニター〉が赤色に点灯するまでお待ちください。
- スタンバイモードが「ノーマル」に設定されている場合は、〈電源モニター〉は赤色点滅します。(☞ 40 ページ)

3) 〈電源モニター〉が赤色に点灯または点滅したら、電源プラグをコンセントから抜く (☞ 19 ページ)

- お急ぎの場合は、「ダイレクトパワーオフ機能」により、電源プラグをすぐにコンセントから抜くこともできます。

お知らせ

- 「セキュリティ」メニューで、「操作設定」の「**本体操作部**」(本体で操作する場合)または「**リモコン**」(リモコンで操作する場合)が「有効」になっていることを確認してください。(☞ 44 ページ)
- 電源ボタンを 0.5 秒以上押しでも電源を切ることができます。

投写する

外部機器の接続(☞ 17、18 ページ)、電源コードの接続(☞ 19 ページ)を確認し、電源を入れる(☞ 21 ページ)と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

1) 接続機器の電源を入れる

DVD プレーヤー等、接続機器の再生を行ってください。「表示オプション」メニューの「入力検出」が「オン」の場合は、本機の電源を入れたとき、自動的に入力中の信号を検出し投写します。(☞ 37 ページ)

- 「表示オプション」メニューの「オンスクリーン表示」にある「入力ガイド」を「詳細表示」に設定してください。本機が入力信号を検出できないときは、コンピューター接続時のヘルプ画面が表示されます。(☞ 36 ページ)

2) 映像の入力を切り換える

〈INPUT SELECT〉ボタンで選択した映像が投写されます。(☞ 24 ページ)

お願い

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、「映像調整」メニューで設定を変更してください。(☞ 30 ページ)
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、最適なアスペクト比に切り換えてください。(☞ 33 ページ)

映像の映り具合を調整する

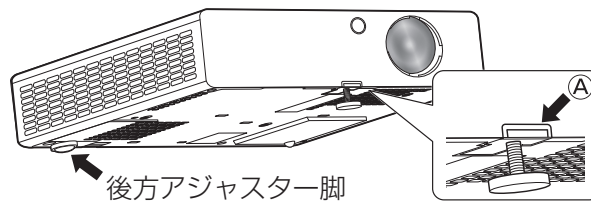
初めて設置されるときや、場所を変えて設置されるときは、続けて下記の調整を行ってください。

1) 投写角度を調整する

- 本機はスクリーンに対して垂直になるよう設置してください。

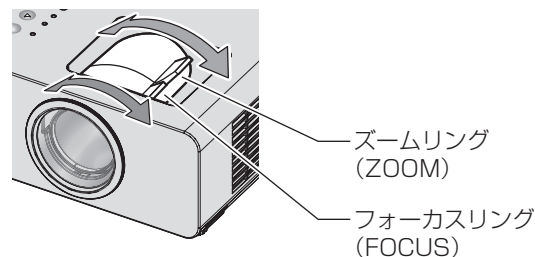


- アジャスターボタン(A)を押しながら、上下方向に投写角度を調整できます。その後、投写映像がスクリーン中央にくるように調整してください。



2) 投写サイズとフォーカスを調整する

- 「ズームリング」と「フォーカスリング」を回して調整します。



お知らせ

- 「ズームリング」を回すと、投写サイズが変わるので「フォーカスリング」を回して、再度フォーカスを微調整します。
- 投写映像が左右に傾いているときは、後方アジャスター脚を回して、本機の傾きを調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」で調整を行ってください。(☞ 32 ページ)

リモコンで操作する



映像を一時的に静止させる

外部機器の再生に関係なく一時的に投写映像を静止させ、音声を消します。

FREEZE



を押す

もう一度押すと解除されます。
静止 / 解除で画像が一瞬乱れます。

映像・音声を一時的に消す

一定時間だけ本機を使用しない場合に、映像と音声を一時的に消します。



を押す

もう一度押すと解除されます。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。

■コンピューター

COMPUTER



を押す

ボタンを押すごとに切り換わります。

COMPUTER1	コンピューター 1 入力端子に接続した信号
COMPUTER2	コンピューター 2 入力端子に接続した信号

■ビデオ

VIDEO



を押す

ボタンを押すごとに切り換わります。

S-VIDEO	S ビデオ入力端子に接続した信号
VIDEO	ビデオ入力端子に接続した信号

「表示オプション」メニューの「オンスクリーン表示」にある「入力ガイド」を「詳細表示」(☞ 36 ページ)にしているとき、画面右上部に入力端子のグラフィックが表示され、選択中の入力端子を確認できます。(選択中の入力端子は黄色で強調されます。)

このとき▲▼◀▶ボタンでも入力を切り換えることができます。

入力切り換え操作をしてから、映像が切り換わるまで、時間がかかる場合があります。

お願い

- 『対応信号リスト』で記載している信号を入力してください。(☞ 52 ページ)

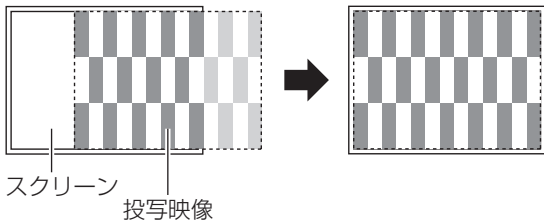
お知らせ

- 入力端子については『接続する』をご覧ください。(☞ 17 ページ)
- 操作をしなければ入力ガイドの表示は自動的に消えます。
- 本体操作部で〈INPUT SELECT〉ボタンを押すと下記の順に切り換わります。(☞ 12 ページ)



表示位置を自動補正する

RGB 信号入力時「シフト」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。



お知らせ

- 入力検出も実行されます。(「入力検出」を「オン」に設定時) (☞ 37 ページ)
- ドットクロックが 162 MHz を超える信号を入力した場合「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は自動設定されません。(☞ 32 ページ)
- 画面の端が分からないような信号や暗い画面を入力して「自動位置補正」を動作させると自動的に処理が中断されたり、異常補正されたりすることがあります。このような場合は、別の画面に切り換えてから、もう一度〈AUTO SETUP〉ボタンを押してください。

出荷状態に戻す

サブメニューの設定・調整の値を工場出荷状態に戻します。



- 詳しくは、『オンスクリーンメニューについて』の『メニュー画面の操作方法』 - 『調整値を工場出荷時の状態に戻す』をご覧ください。(☞ 27 ページ)

音量を調整する

内蔵スピーカーまたは、音声出力の音量を調整することができます。



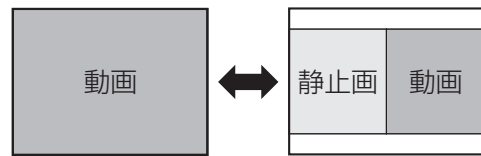
- +ボタン：音量を大きくする
- -ボタン：音量を小さくする

インデックスウィンドウで表示する

投写中の画面をメモリーに記録し、静止画と動画を 2 画面表示することができます。



〈RETURN〉ボタンを押すと解除されます。
〈INDEX-WIN.〉ボタンを押したときの画面が静止画になります。



■ インデックスウィンドウ表示中のボタン機能

▲▼ボタンで画面サイズを設定する
(3段階に切り換えることができます。)

◀▶ボタンで左右の静止画と動画を入れ替える

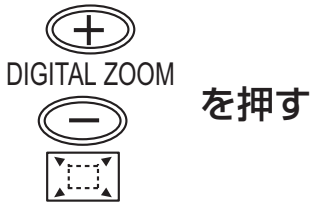
お知らせ

- 画面のアスペクト比が変わり、映像が通常より縦長になります。
- 画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。(☞ 33 ページ)
- 〈ENTER〉ボタンで静止画が更新されます。
- 動きの速い映像で「インデックスウィンドウ」を動作させた場合、静止画が乱れることがあります。

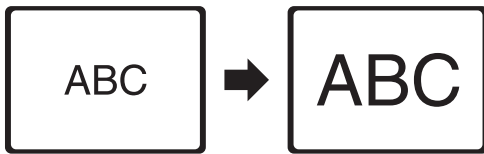
リモコンで操作する (つづき)

映像を拡大する

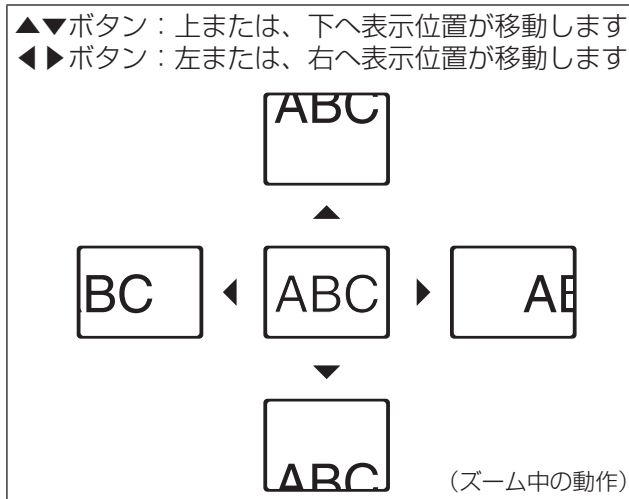
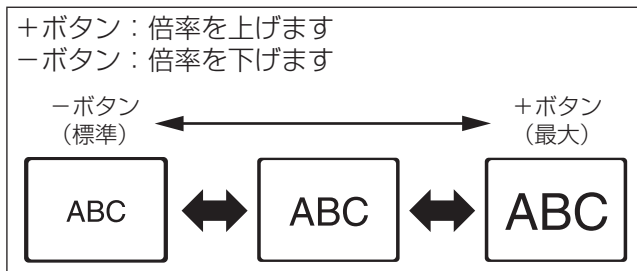
入力画面の中心を拡大して表示することや、拡大した表示部分を移動することができます。



〈RETURN〉ボタン、または〈MENU〉ボタンを押すと解除されます。



デジタルズーム中のボタン機能



お知らせ

- 倍率は、1.0倍から2.0倍まで0.1ごとに調整できます。また、RGB信号入力時に「位置調整」メニューの「フレームロック」が「オフ」の場合1.0倍から3.0倍まで、「オン」の場合1.0倍から2.0倍まで調整できます。(43ページ)
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。
- デジタルズーム中に「静止」はできません。
- 倍率を変える際に画像が一瞬乱れます。

ファンクションボタンを使用する

本体の操作部およびリモコンの〈FUNCTION〉ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用することができます。



1) 本体の操作部またはリモコンの〈MENU〉ボタンを押して、割り当てたいメニュー項目(メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー)を表示させる
 オンスクリーンメニューの操作については、『メニュー画面の操作方法』をご覧ください。(27ページ)

2) 本体の操作部またはリモコンの〈FUNCTION〉ボタンを3秒以上押し続ける

●〈FUNCTION〉ボタンを使用しない場合

1) 本メニュー(「プロジェクター設定」の「ファンクションボタン」のメニュー)で「割り当て解除」を選ぶ

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

3) 「はい」を選ぶ

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは、『「プロジェクター設定」メニューについて』の「ファンクションボタン」をご覧ください。(41ページ)

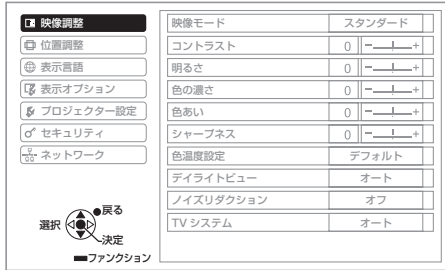
オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

1) 〈MENU〉 ボタンを押す

メインメニューが表示されます。



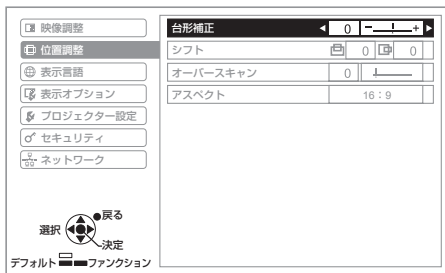
2) ▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

「映像調整」、「位置調整」、「表示言語」、「表示オプション」、「プロジェクター設定」、「セキュリティ」、「ネットワーク」の7つの項目から、操作したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、そのサブメニューが右側に表示されます。



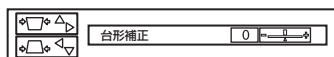
3) 〈ENTER〉 ボタンを押す

サブメニューの項目が選択できるようになります。



4) ▲▼ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。



項目名のみ表示は、〈ENTER〉ボタンを押すと次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

お知らせ

- メニュー画面を表示中、〈RETURN〉ボタンまたは、〈MENU〉ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できる項目があります。
- 約5秒間何も操作をしないと、個別調整画面は自動で消えます。
- サブメニューの項目については、『オンスクリーンメニューについて』の『サブメニュー』をご覧ください。(P.28 ページ)

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

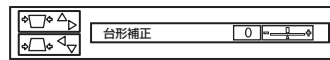
リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、「メニュー」項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

DEFAULT を押す



表示されている画面によって動作が異なります。

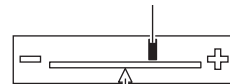
- サブメニュー画面表示時：
表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時：
調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。



お知らせ

- すべての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。
「メニュー」項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、『「プロジェクター設定」メニューについて』の『全設定初期化』をご覧ください。(P.42 ページ)
- 〈DEFAULT〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下にある三角マークは、工場出荷時の値を示しています。また、三角マークは、入力される信号などによって位置が異なります。

現在の調整値



工場出荷時の値

オンスクリーンメニューについて (つづき)

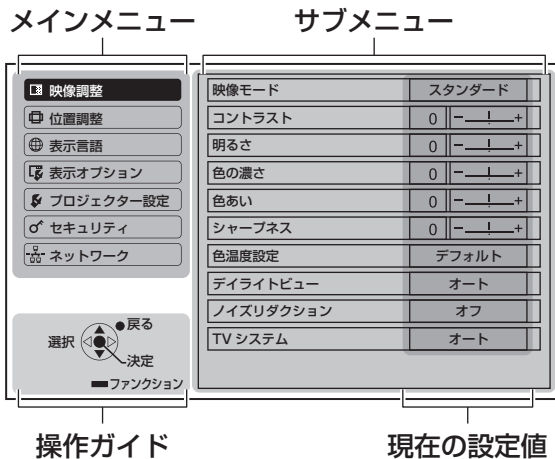
本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、『メニュー画面の操作方法』をご覧ください。(P.27 ページ)

オンスクリーンメニュー

MENU



オンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューは、メインメニューとサブメニューで構成されています。



操作ガイド

現在の設定値

各メニューの操作方法が表示されます。

メインメニュー

メインメニューには以下の7つの項目があります。メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	映像調整
	位置調整
	表示言語
	表示オプション
	プロジェクター設定
	セキュリティ
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ 映像調整 []

- S ビデオ / ビデオ / RGB (動画) *1 / YP_BPr 入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード	30
コントラスト	0	30
明るさ	0	30
色の濃さ	0	30
色あい	0	30
シャープネス	0	30
色温度設定	デフォルト	30
デイライトビュー	オート	31
ノイズリダクション *2	オフ	31
TV システム *2	オート	31
RGB/YP _B Pr *3	オート	31

*1: RGB の動画入力は、480i, 576i, 480p, 576p, 1 080/60i, 1 080/60p, 1 080/50i, 1 080/50p, 720/60p, 720/50p 信号入力時に有効となります

*2: S ビデオ / ビデオ入力時のみ

*3: RGB/YP_BPr 入力時のみ

- RGB (静止画) 入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	ダイナミック	30
コントラスト	0	30
明るさ	0	30
シャープネス	0	30
ホワイトバランス 赤 *1	0	30
ホワイトバランス 緑 *1	0	30
ホワイトバランス 青 *1	0	30
色温度設定	デフォルト	30
デイライトビュー	オート	31
RGB/YP _B Pr *2	オート	31

*1: RGB 入力時のみ

*2: RGB (VGA60) 入力時のみ

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なります。

■位置調整 []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	32
台形補正	0	32
シフト *1	0	32
ドットクロック *1	0	32
クロックフェーズ *1	0	32
オーバースキャン *1	0	33
アスペクト *1	16:9	33
フレームロック *1	オフ	34

*1: 信号や設定によって設定が有効 / 無効になります

■表示言語 []

項目の詳細 ( 35 ページ)

■表示オプション []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
オンスクリーン表示	—	36
スタートアップロゴ	オン	36
自動位置補正	オート	37
入力検出	オン	37
バックカラー	ブルー	37
ワイドモード *1	オート	37
SXGA モード *1	SXGA	37
その他の機能	—	38

*1: 信号や設定によって設定が有効 / 無効になります

■プロジェクター設定 []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
ステータス	—	39
無信号自動オフ	無効	39
起動方法	ラストメモリ	39
設置方法	フロント / 床置き	39
高地モード	オフ	39
スタンバイモード	エコ	40
ランプパワー	ノーマル	40
ランプ使用時間	—	40
エミュレート	デフォルト	40
ファンクションボタン	ステータス	41
音声設定	—	41
テストパターン	—	42
全設定初期化	—	42

■セキュリティ []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
パスワード設定	オフ	43
パスワード変更	—	43
テキスト設定	オフ	43
テキスト変更	—	43
メニューロック	オフ	44
メニューロックパスワード	—	44
操作設定	—	44

■ネットワーク []

項目の詳細は『ネットワーク操作説明編』をご覧ください

サブメニュー項目	工場出荷時
有線 LAN	—
プロジェクター名変更	—
ネットワークコントロール	オン
ステータス	—
初期化	—

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択、入力信号により表示が異なります。

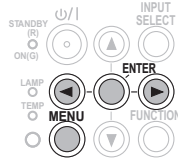
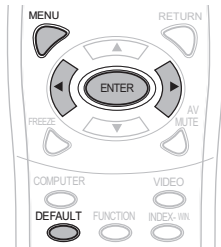
「映像調整」メニューについて

『メニュー画面の操作方法』（P.27 ページ）のメインメニューから「映像調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで調整してください。

リモコン

本体操作部

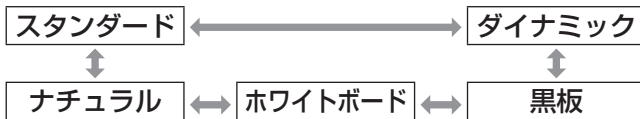


映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



スタンダード	標準的な明るさでご覧になる場合
ダイナミック	より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合
黒板	黒板に投写する場合
ホワイトボード	ホワイトボードに投写する場合
ナチュラル	暗い部屋でご覧になる場合

お知らせ

- 映像モードを切り換えたあと、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。

コントラスト

色の明暗度を調整します。

暗く ◀▶ 明るく

明るさ

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

黒浮きを抑える ◀▶ 黒つぶれを抑える

色の濃さ

[Sビデオ / ビデオ / RGB（動画） / YPbPr 信号入力時のみ]
色の濃さを調整します。

薄く ◀▶ 濃く

色あい

[Sビデオ / ビデオ / RGB（動画） / YPbPr 信号入力時のみ]
肌色の部分を調整します。

緑色を抑える ◀▶ 赤紫色を抑える

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

やわらかく ◀▶ くっきり

お知らせ

- 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

ホワイトバランス

[RGB（静止画）信号入力時のみ]
映像の白色部分に色が付いている場合に調整します。

- 1 ◀▶ + 1

▲▼ボタンで項目を選択します。

アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
ホワイトバランス 赤	0
ホワイトバランス 緑	0
ホワイトバランス 青	0

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える



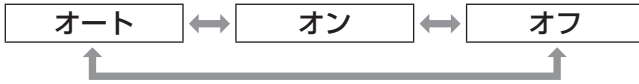
デフォルト	標準的な設定の場合
高	映像の白色部分を青みがからせたい場合
低	映像の白色部分を赤みがからせたい場合

「映像調整」メニューについて (つづき)

デイトライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

設定を切り換える ←   設定を切り換える



オート	周囲の明るさにより自動的に調整します
オン	デイトライトビュー有効
オフ	デイトライトビュー無効

お知らせ

- プロジェクターの上面にものなどを置くと、「オート」モードが正常に動作しない場合があります。
- 「プロジェクター設定」の「設置方法」で「リア/床置き」または「リア/天つり」を選択した場合、「オート」の設定はできません。

ノイズリダクション

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]
入力信号が劣化しているときに生じるノイズを除去することができます。

設定を切り換える ←   設定を切り換える

オフ	ノイズリダクション無効
オン	ノイズリダクション有効

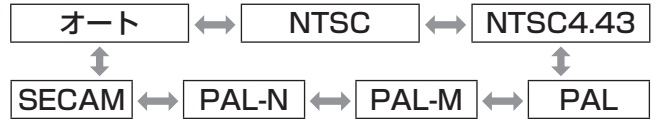
お願い

- ノイズが少ない入力信号に対して、「ノイズリダクション」を「オン」に設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

TVシステム

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]
入力信号に合ったカラー方式を設定します。

設定を切り換える ←   設定を切り換える



お願い

- 通常は「オート」に設定してください。
- 「オート」で正常に映らない場合は、それぞれのテレビのカラー方式に設定を切り換えてください。日本国内ではNTSC (P.58 ページ) のカラー方式が使われています。

お知らせ

- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL60/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

RGB/YP_BP_R

[RGB/YP_BP_R 信号入力時のみ]
コンピューター 1 入力端子とコンピューター 2 入力端子に入力する信号を選択します。


設定を切り換える ←   設定を切り換える

オート	同期信号により、RGB/YP _B P _R 信号を自動的に選択します
RGB	RGB 信号を入力時に設定してください
YP _B P _R	YP _B P _R 信号を入力時に設定してください

お願い

- 通常は「オート」に設定してください。
- 「オート」で正常に映らない場合は、入力する信号に合わせて「RGB」または「YP_BP_R」を設定してください。
以下一部の信号入力時のみ有効となります。
(VGA60, 480i, 576i, 480p, 576p, 1 080/60i, 1 080/60p, 1 080/50i, 1 080/50p, 720/60p, 720/50p)

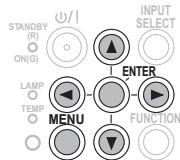
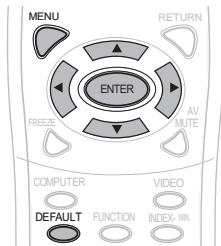
「位置調整」メニューについて

『メニュー画面の操作方法』（ 27 ページ）のメインメニューから「位置調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで調整してください。

リモコン

本体操作部



リアルタイム台形補正





本機は、設置時の傾きを検知し自動的に台形ひずみを補正することができます。

設定を切り換える   設定を切り換える

オン	リアルタイム台形補正有効
オフ	リアルタイム台形補正無効

台形補正

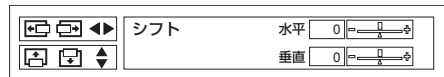
本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いたりしている場合に発生する台形ひずみを補正します。

画面の状態	操作
	
	

お知らせ

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して±30度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと、画面サイズも変化します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。
- 台形補正調整時に画像が一瞬乱れます。

シフト



水平：◀▶ボタンで映像を左右に調整します。
垂直：▲▼ボタンで映像を上下に調整します。

お知らせ

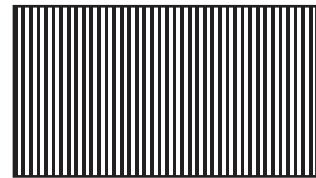
- 直接◀▶▲▼ボタンを押して、本機能を調整することもできます。

ドットクロック

[RGB（静止画）信号入力時のみ]

縦じま模様を投写したときに発生するノイズを軽減する際に調整します。

下記のようなしま模様を投写したときに、周期的なしま模様（ノイズ）が発生することがあります。この場合、◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



お願い

- 「クロックフェーズ」より先に調整してください。


クロックフェーズ

[RGB/YPbPr 信号入力時のみ]

「ドットクロック」調整後、さらにノイズを軽減させることができます。

◀▶ボタンで、ノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ

- ドットクロック周波数が162 MHzを超える信号の場合は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。（ 52 ページ）

オーバースキャン

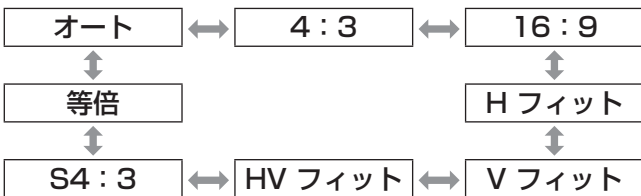
[Sビデオ / ビデオ / RGB (動画) / YP_BP_R 信号入力時のみ]
 投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。



- 設定可能範囲 : 0 ~ + 3

アスペクト

映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換えます。
 入力する信号によって切り換え項目の表示は異なります。



お知らせ

- 「オート」はNTSC、480i入力時のみ表示されます。
- 「等倍」は一部の信号のみ表示されます。
- ワイド信号 *2 の場合は、16:9 ⇄ V フィット ⇄ HV フィットに切り換わります。

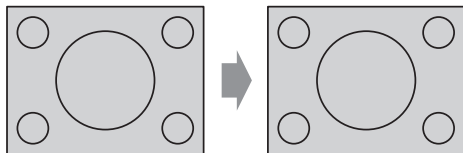
■ オート [NTSC、480i入力時のみ]

入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換え、投写します。

■ 4:3

標準信号 *1 入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。

- 入力信号 : XGA

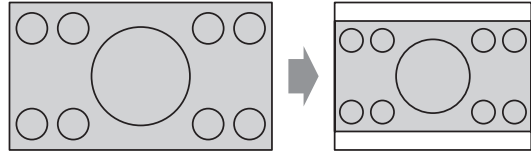


映像 :

■ 16:9

標準信号 *1 入力時は、アスペクト比を 16:9 にして投写します。
 ワイド信号 *2 入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。

- 入力信号 : 1 080/60i

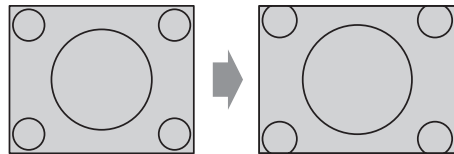


映像 : パネル :

■ H フィット

標準信号 *1 入力時に、アスペクト比を固定したまま、水平方向のパネル画素をすべて使って、画像の上下が切れて投写されます。

- 入力信号 : SXGA

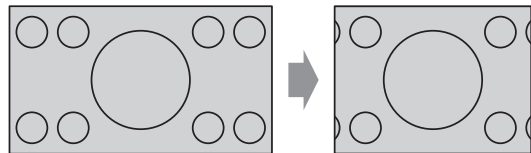


映像 :

■ V フィット

ワイド信号 *2 入力時に、アスペクト比を固定したまま、垂直方向のパネル画素をすべて使って、画像の左右が切れて投写されます。

- 入力信号 : 1 080/60i

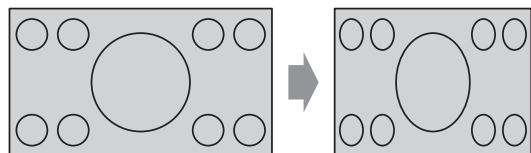


映像 :

■ HV フィット

パネル画素 (スクリーン) 全体に映像を投写します。入力信号をパネル (スクリーン) のアスペクト比に変換して投写します。

- 入力信号 : 1 080/60i



映像 :

*1: 標準信号とは、アスペクト比が 4:3、5:4 の信号入力時です。

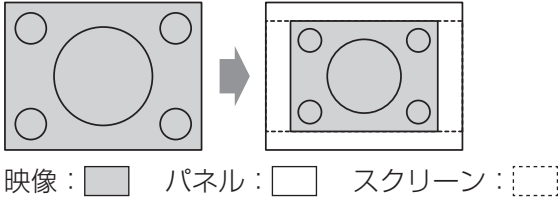
*2: ワイド信号とは、アスペクト比が 16:10、16:9、15:9 の信号入力時です。

「位置調整」メニューについて (つづき)

■ S4 : 3

標準信号 *1 入力時、信号のサイズを 75 % に圧縮して投写します。(16 : 9 スクリーンに 4 : 3 映像を投写する場合に有効です。)

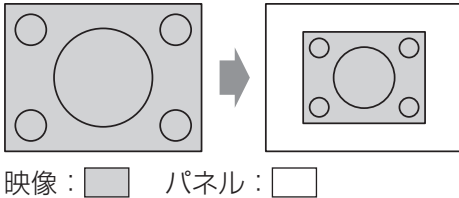
- 入力信号 : XGA



■ 等倍

リサイズを行わず、入力信号の解像度のまま投写します。
本機の液晶パネルの画素数 (1 024 × 768) より小さい信号を入力した場合、設定可能になります。

- 入力信号 : NTSC



*1: 標準信号とは、アスペクト比が 4 : 3, 5 : 4 の信号入力時です。

お願い

- アスペクト比 4 : 3 の映像を 16 : 9 で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比 4 : 3 でご覧ください。

お知らせ

- 入力している映像と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差がでます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

フレームロック


[RGB 信号入力時のみ]

一部のコンピューター信号で設定可能になります。動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

設定を切り換える 設定を切り換える

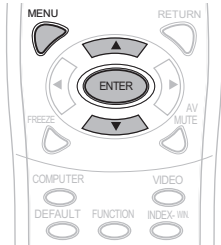
オン	フレームロック有効
オフ	フレームロック無効

「表示言語」メニューについて

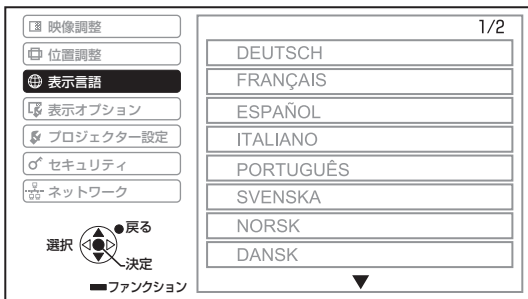
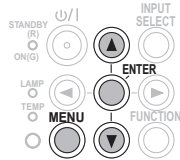
『メニュー画面の操作方法』（ 27 ページ）のメインメニューから「表示言語」を選び、サブメニューを表示させます。

- ▲▼ボタンで選び、〈ENTER〉ボタンで言語の設定をしてください。

リモコン



本体操作部



設定している言語に表示されます。

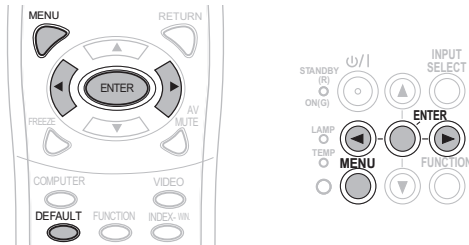
「表示オプション」メニューについて

『メニュー画面の操作方法』（P.27 ページ）のメインメニューから「表示オプション」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。

リモコン

本体操作部



オンスクリーン表示

オンスクリーン表示の設定ができます。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

■入力ガイド

画面右上の、現在選択している入力端子名の表示方法を設定します。

詳細表示	入力端子をグラフィック表示
オフ	入力ガイド無効
簡易表示	入力端子名のみ表示

●コンピューター画面の表示先の切り換えについて

コンピューター側の映像出力切り換えコマンドについては、下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド	メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic NEC	Fn + F3	lenovo LG SONY	Fn + F7
SAMSUNG HP	Fn + F4	DELL EPSON	Fn + F8
acer SHARP TOSHIBA	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F9
		Apple	F7

お知らせ

- コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。
- ヘルプ画面を表示させたくない場合は、「簡易表示」または「オフ」に設定してください。

■OSD デザイン

オンスクリーンメニュー（OSD）の背景を設定します。

タイプ 1	背景を半透明の黒色で表示
タイプ 2	背景を青色で表示
タイプ 3	背景を半透明の紺色で表示

■警告メッセージ

警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

オン	警告メッセージ表示
オフ	警告メッセージ非表示

スタートアップロゴ

電源を入れたときに、会社のロゴマークなどユーザー独自の映像や、事前に設定された文字を表示するか等を設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

オン	「Panasonic」ロゴを表示
テキスト	テキストを表示
ユーザー	ユーザーが登録したイメージを表示
オフ	スタートアップロゴ非表示

お知らせ

- 「テキスト」を選択すると、入力された文字がスタートアップ時に表示されます。入力できる文字数は 1 行に 40 文字で、2 行まで入力設定ができます。
- 「ユーザー」を選択すると、ロゴ転送ソフトウェアにより転送されたイメージが、スタートアップ時に表示されます。（ロゴ転送ソフトウェアは、付属の CD-ROM よりインストールできます。）
- スタートアップロゴは、約 30 秒で消えます。

「表示オプション」メニューについて (つづき)

■テキスト設定

- 1) ◀▶ボタンで「テキスト」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで項目を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
「テキスト 1」に 1 行目に表示したい文字を、「テキスト 2」に 2 行目に表示したい文字を入力します。



- 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押し、入力していく
「全削除」を選ぶと、入力した文字のすべてを削除できます。リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している 1 文字を消去できます。



- 4) 「確定」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
- 5) 再度「確定」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

自動位置補正

通常は「オート」に設定してください。
毎回、自動位置補正を行う必要がない場合は「ボタン」に設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オート	投写中の映像信号がコンピューター信号になると、自動位置補正を行います
ボタン	〈AUTO SETUP〉ボタンを押したときのみ有効 (👁️ 25 ページ)

入力検出

電源を入れたとき、信号が入力されている端子を自動的に検出して投写するかを設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オン	自動入力検出有効
オフ	自動入力検出無効

お知らせ

- 電源を入れたときに選択されている入力が無信号時のみ機能します。

バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示

ワイドモード

ワイド信号 (16 : 9, 16 : 10, 15 : 9) を入力する場合に設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オート	自動的に切り換える場合
オフ	4 : 3 の信号を入力する場合
オン	ワイド信号を入力する場合

SXGA モード

SXGA 入力時に、画像が切れている場合に設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

SXGA	通常の場合
SXGA+	画像が切れている場合

「表示オプション」メニューについて (つづき)

その他の機能

リモコンボタンの一部の操作を、サブメニューからも操作できます。

■ 自動位置補正

詳しくは『表示位置を自動補正する』をご覧ください。(👁️ 25 ページ)

■ 静止

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を消すことができます。

再度「静止」を実行することで解除されます。

静止 / 解除で画像が一瞬乱れます。

■ AV ミュート

一定時間本機を使用しない場合に、映像と音声を消すことができます。

〈MENU〉ボタンで解除されます。

■ インデックスウィンドウ

詳しくは『インデックスウィンドウで表示する』をご覧ください。(👁️ 25 ページ)

■ デジタルズーム



▶ ボタン：倍率を上げる


◀ ボタン：倍率を下げる

〈ENTER〉ボタンで倍率を確定します。

〈MENU〉ボタンで解除されます。

倍率を変える際に画像が一瞬乱れます。

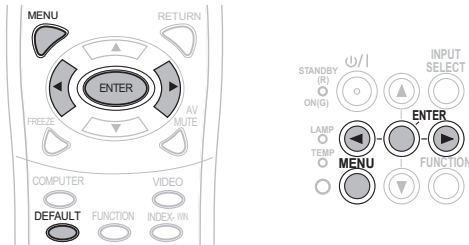
「プロジェクター設定」メニューについて

『メニュー画面の操作方法』（ 27 ページ）のメインメニューから「プロジェクター設定」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。

リモコン

本体操作部



ステータス

本体の使用状況を表示します。

■ 信号

- 名前：入力信号の名称
- 周波数：入力信号の走査周波数

■ 使用時間

- プロジェクター：プロジェクターの実使用時間
- ランプ：ランプの実使用時間

無信号自動オフ

設定時間までに映像信号が入力されない場合、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

無効	無信号自動オフ無効
15分～60分	5分間隔で設定可能


起動方法

本機の電源プラグをコンセントに差し込んだときの起動方法を設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

ラストメモリ	電源プラグを抜く前の状態で起動
スタンバイ	スタンバイ状態で起動
オンスタート	すぐに投写を開始

設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。
( 16 ページ)

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

フロント / 床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント / 天つり	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
リア / 床置き	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
リア / 天つり	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

高地モード

海拔 1 400 m 以上の場所で使用する場合に設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

オフ	通常的环境（海拔 1 400 m 未満）で使用する場合
オン	高地（海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満）で使用する場合

お知らせ

- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がるため動作音が大きくなります。

「プロジェクター設定」メニューについて (つづき)

スタンバイモード

スタンバイモードを切り換えます。

設定を切り換える   設定を切り換える

エコ	待機電力を 0.3 W に下げ、節電します。
ノーマル	スタンバイ状態のときに、有線 LAN で接続しているコンピューターを操作して、本機の電源を「入」にしたい場合や、音声出力を有効にしたい場合、「ノーマル」に設定します。

ランプパワー

ランプの明るさを切り換えます。

設定を切り換える   設定を切り換える

ノーマル	高輝度の映像をお楽しみいただけます。
エコ	輝度が下がりますが、電力の節約、動作音の低減ができます。

お知らせ

- 信号が入力されていない場合は、設定できません。
- 狭い会議室など高い輝度を必要としない場合や、映画などをご覧になる場合は、ランプパワーを「エコ」に設定されることをお勧めします。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を表示します。

お願い

- ランプを交換する場合は、『ランプユニットの交換手順』(🔗 49 ページ)に従って交換してください。
- 『ランプユニットの交換時期』を確認してください。(🔗 48 ページ)

お知らせ

- ランプの使用時間が 3 800 時間に達すると、時間表示を赤色とグレーで交互に表示し、交換時期をお知らせします。
- ランプの寿命は使用条件 (電源の入切の回数など) により変わります。

エミュレート

本機のシリアル入力端子を使用し、コンピューターで制御する際に、本機購入以前の弊社のプロジェクター制御コマンドを使用する場合に設定します。

- 1) <ENTER> ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで設定したい項目を選ぶ
- 3) <ENTER> ボタンを押す

● デフォルト	LB3、LB2 系、LB1 系、ST10、LB75 系、LB78 系、LB80 系、LW80NT、LB90 系
D3500	D3500
D4000	D4000
D/W5K シリーズ	D5500 系、DW5000 系、D5600 系、DW5100 系、D5700 系
D/W/Z6K シリーズ	D5000 系、D6000 系、DW6300 系、DZ6700 系、DZ6710 系
L730	L520 系、L720 系、L730 系
L780	L750 系、L780 系
L735	L735 系
L785	L785 系
F/W シリーズ	F100 系、FW100 系、F200 系、F300 系、FW300 系

お知らせ

- 一部対応していないコマンドもあります。詳細は、販売店にお問い合わせください。

ファンクションボタン

本体の操作部およびリモコンの〈FUNCTION〉ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用することができます。

- 1) 本体の操作部またはリモコンの〈MENU〉ボタンを押して、割り当てたいメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）を表示させる

オンスクリーンメニューの操作については、『メニュー画面の操作方法』をご覧ください。
(👁️ 27 ページ)

- 2) 本体の操作部またはリモコンの〈FUNCTION〉ボタンを3秒以上押し続ける

●〈FUNCTION〉ボタンへの割り当てを解除する場合

- 1) 本メニュー（「プロジェクター設定」の「ファンクションボタン」のメニュー）で「割り当て解除」を選ぶ
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) 「はい」を選ぶ
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 設定が完了すると文字色およびボタン背景色が変わります。

音声設定

音声の機能を詳細に設定することができます。

■音量

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整します。



■バランス

音声出力の左右の音声バランスを調整します。



■スタンバイ時動作

スタンバイ状態での音声出力を設定します。

設定を切り換える 設定を切り換える

オフ	無効
オン	有効

お知らせ

- スタンバイモードが「エコ」設定のとき、「オン」を選択しても、スタンバイ状態での音声出力は有効になりません。

■音声入力選択

〈COMPUTER 1 IN〉または〈COMPUTER 2 IN〉に接続する機器の音声出力を、〈AUDIO IN 1〉または〈AUDIO IN 2〉のどちらにするかを選択します。

設定を切り換える 設定を切り換える

入力端子名	
COMPUTER 1 IN	〈AUDIO IN 1〉 または 〈AUDIO IN 2〉 の選択
COMPUTER 2 IN	〈AUDIO IN 1〉 または 〈AUDIO IN 2〉 の選択

「プロジェクター設定」メニューについて (つづき)

テストパターン

〈ENTER〉ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。7種類のテストパターンがあり、切り換えられます。



〈RETURN〉ボタンまたは〈MENU〉ボタンを押すと、「プロジェクター設定」メニューに戻ります。

お知らせ

- 初期画面は全白のパターンです。〈FUNCTION〉ボタンに割り当てた場合は、格子状のパターンが初期画面となります。

全設定初期化


「メニュー」項目で調整した値を工場出荷時の状態に戻します。

- 「全設定初期化」メニューで〈ENTER〉ボタンを押すと、「全ての設定を初期化します。よろしいですか?」と表示され、「はい」を選び〈ENTER〉ボタンを押すと、「初期化中…」の画面が表示され、その後「電源をオフします。よろしいですか?」と表示されます。表示に従って電源を切ってください。(このとき、他のキー操作はすべて無効となっています。)
- 次に電源を入れると「言語設定」、「初期設定」の画面が表示されます。(👁️ 11 ページ)

お知らせ

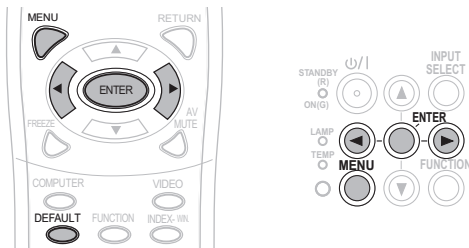
- プロジェクターの使用時間、ランプの使用時間、「ネットワーク」の設定は初期化されません。
- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合は、全設定初期化の際にパスワード入力が必要です。
- 全設定初期化後、パスワードは工場出荷時の状態に戻り、「パスワード設定」は「オフ」になります。

「セキュリティ」メニューについて

『メニュー画面の操作方法』（ 27 ページ）のメインメニューから「セキュリティ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 初めてご使用になる場合
初期パスワード：▲▶▼◀▶▼◀ ボタンを順に押し、〈ENTER〉ボタンを押してください。
- 項目を選んだら◀▶ボタンで設定してください。

リモコン 本体操作部



お願い

- パスワード変更している場合は、最新のパスワードを入力し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

パスワード設定

電源を入れたときに、パスワード入力画面を表示させることができます。

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	パスワード入力画面非表示
オン	パスワード入力画面表示

お知らせ

- お買い上げ時、または全設定初期化したあと、パスワード設定は「オフ」になります。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- 正しくパスワードを入力しないと、電源ボタン以外の操作ができなくなります。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。

- 1) ▲▼◀▶ボタンでパスワードを設定する
(最大 8 つのボタン操作を設定できます。)
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) 再度、確認用のパスワードを入力し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。
- 確認用のパスワードと一致しないと、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度、正しいパスワードを入力してください。

テキスト設定

投写中の映像の下に、設定した文字を常時表示することができます。

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	テキスト設定無効
オン	テキスト設定有効

テキスト変更

「テキスト設定」を「オン」にしたときに表示する文字を変更することができます。

- 1) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押し、入力する
(最大 22 文字まで入力できます。)
「全削除」を選ぶと、入力した文字のすべてを削除できます。リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している 1 文字を消去できます。



- 2) ▲▼◀▶ボタンで「確定」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

「セキュリティ」メニューについて (つづき)

メニューロック

〈MENU〉ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できないように設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	メニューのロック解除
オン	メニューのロック

お知らせ

- 「メニューロック」を「オン」に設定後は、正しくパスワードを入力しないと〈MENU〉ボタンの操作ができなくなります。
- お買い上げ時、または全設定初期化後、「メニューロック」は「オフ」になっています。

メニューロックパスワード

「メニューロックパスワード」の設定ができます。

1) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押し、入力する

(最大 16 文字まで入力できます。)

「全削除」を選べると、入力した文字のすべてを削除できます。リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している 1 文字を消去できます。



2) ▲▼◀▶ボタンで「確定」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す

中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

お知らせ

- 初めてご使用になるとき、または全設定初期化したあとの、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- 初期パスワードへの戻し方は、『メニューロックパスワードについて』(P.54 ページ)をご覧ください。

操作設定

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

■ 本体操作部

有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

■ リモコン

有効	リモコンボタン操作有効
無効	リモコンボタン操作無効


お知らせ

- 「無効」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押すと確認画面が表示されるので、「はい」を選び〈ENTER〉ボタンを押してください。
- 「本体操作部」を「無効」に設定後、本体操作部でボタン操作を行うと、パスワード画面が表示されます。「セキュリティ」で設定したパスワードを入力してください。(何も操作をしないとパスワード画面は約 10 秒で消えます。)
- 「本体操作部」と「リモコン」の操作を両方とも「無効」にした場合、本体操作部のボタンとリモコンボタン操作のすべてが効かなくなるため、電源を切ることができなくなります。

「無効」の解除方法：

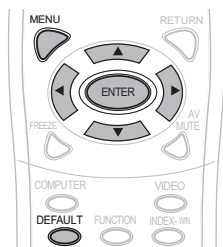
スタンバイ状態や投写中に、本体操作部の〈ENTER〉ボタンを押しながら〈MENU〉ボタンを 2 秒以上押し続けると、「本体操作部」の設定が「無効」から「有効」に切り換わります。「リモコン」の設定は本体操作部で変更してください。

「ネットワーク」メニューについて

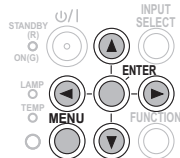
『メニュー画面の操作方法』（ 27 ページ）のメインメニューから「ネットワーク」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。

リモコン



本体操作部



お知らせ

- コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。PJ Link・ネットワーク関連の詳細は、『ネットワーク操作説明編』をご覧ください。

■ 有線 LAN

有線 LAN に関する設定ができます。

■ プロジェクター名変更

本機のプロジェクター名を設定できます。

■ ネットワークコントロール

ネットワーク通信しているコンピューターから本機を制御したい場合は「オン」に設定します。

■ ステータス

ネットワークの設定を表示します。

■ 初期化

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

お知らせ

- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合、ネットワークの設定初期化の際にパスワード入力が必要です。

ランプモニター、温度モニター

モニターが点灯したら

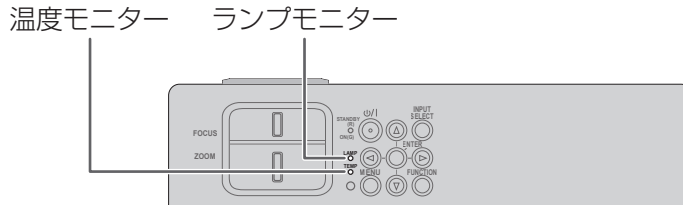
本機内部に異常が発生すると〈ランプモニター〉、〈温度モニター〉のランプが点灯や点滅でお知らせします。モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行うときの電源操作は『電源を切る』の手順を必ずお守りください。(☞ 22 ページ)

お知らせ

- 電源の状態は『電源モニター』で確認してください。(☞ 20 ページ)



■ ランプモニター

点灯状況	● 赤色点灯	● 赤色点滅
状態	ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が 3 800 時間に達すると点灯します。	光源ランプが点灯しない、または途中で不点灯になった。
お調べください	電源を入れたときに、ランプの交換を促すオンスクリーン表示がされていませんか。	電源を切ってからすぐに電源を入れたか、または、停電などが発生しませんでしたか。
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。(☞ 48 ページ)	電源プラグを抜いて、もう一度電源プラグを差ししてみてください。
		光源ランプが冷えるまで約 90 秒以上待ってから電源を入れてください。
		『電源を切る』(☞ 22 ページ)の手順で電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしても、〈ランプモニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご相談ください。

■ 温度モニター

点灯状況	● 投写中に赤色点灯 “取扱説明書の「温度モニター」をご覧ください。”とスクリーンに表示されます。映像が暗くなる場合があります。 ● 温度異常で自動的に投写を中止した場合：赤色点滅			
状態	周囲温度または、内部が異常に高温になっています。			
お調べください	吸気孔や排気孔がふさがれていませんか。	エアフィルターが目詰まりしていませんか。	気温の高い所で使用していませんか。	海拔 1 400 m 以上の場所で使用していませんか。
処置方法	吸気孔や排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。	エアフィルターを掃除してください。(☞ 47 ページ)	仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。(☞ 56 ページ)	電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。2 分以内に「高地モード」を「オン」にしてください。(☞ 39 ページ)

お知らせ

- 上記処置後、電源プラグを一度抜き、本機の電源を入れ直してください。その後も、〈温度モニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。(☞ 57 ページ)
- 設置環境により本体内部温度が上昇すると、ファンの回転数が上がり動作音が変わります。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。(👉 19 ページ)
- 電源を切るときは『電源を切る』の手順を必ずお守りください。(👉 22 ページ)

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用されると外装ケースが変質するおそれがあります。

■ 投写レンズ

投写レンズにごみやほこりが付着すると、スクリーンにごみやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。投写レンズは、ほこりの付いた布でふかないでください。

お願い

- 投写レンズはガラス部品です、堅いものに当てたり落下させたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

■ エアフィルター

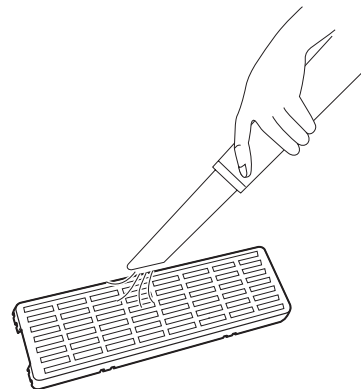
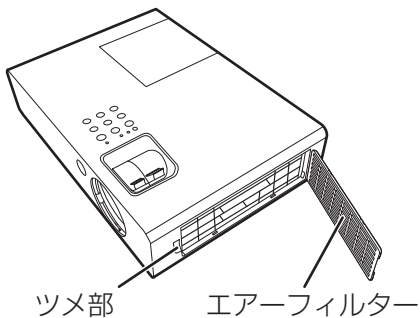
エアフィルターが目詰まりすると、本機内部温度が高温になり、〈温度モニター〉が点灯し、電源が切れます。電源が切れると〈温度モニター〉が点滅します。掃除は約 100 時間を目安に行ってください。

1) エアフィルターを取り外す

エアフィルターのツメ部を押しながらかゆっと引いて、開けてください。

2) エアフィルターを掃除する

掃除機でほこりを吸い取ってください。



3) エアフィルターを取り付ける

1) と逆の手順で取り付ける。

お知らせ

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み故障の原因になります。
- 使用環境によっては、目詰まりによって 100 時間以内に温度モニターが点滅する場合があります。その場合は、早めにエアフィルターの清掃を行うようにしてください。

部品交換

■ エアークフィルタ

掃除をしても、ほこりが取れなくなったら交換時期です。交換用のエアークフィルタは別売り部品です。(サービス部品扱い) ご購入の際は販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際、あわせてエアークフィルタも交換してください。交換用のランプユニット (品番:ET-LAB2) には、エアークフィルタ (品番:TXFKNO1VKN5) が付属しています。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を確認し (☞ 40 ページ)、定期的な交換を行ってください。ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。ランプユニット品番:ET-LAB2 (サービス部品扱い) ご購入の際は、販売店にご相談ください。

■ ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅いものに当たったり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口または、販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。またプロジェクターを天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で作業をしたり、顔を近づけたりしないでランプを垂直に引き出して交換してください。

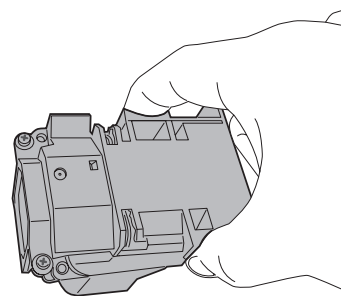


警告

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う



カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。



お知らせ

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 4 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、4 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。5 000 時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため約 10 分後、自動的に消灯します。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
3 800 時間以降	30 秒間表示されます。また 30 秒以内にいずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
5 000 時間以降	10 分後に自動的に電源を切ります。	

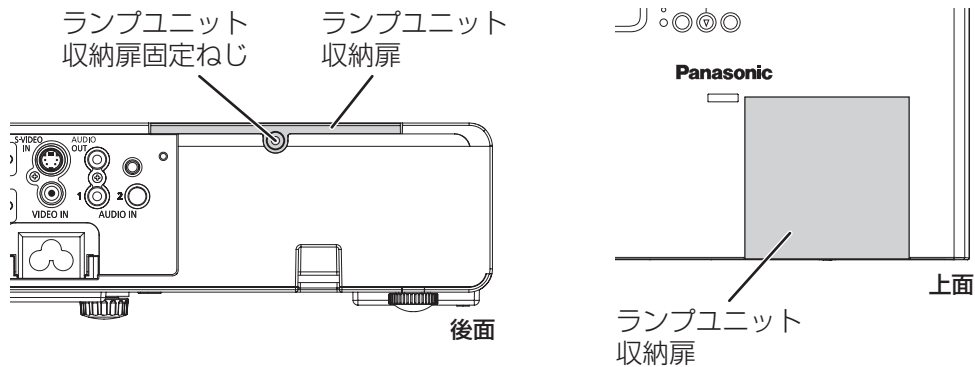
お知らせ

- 4 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、『保証期間』(☞ 57 ページ) や保証書をご覧ください。

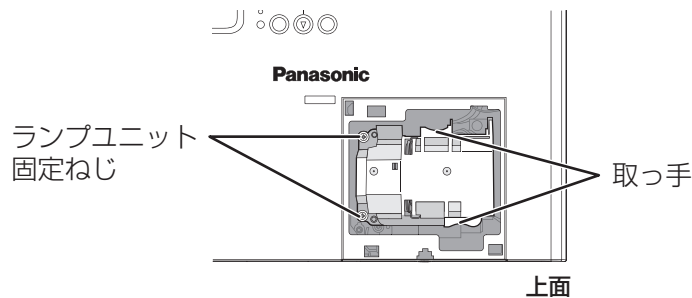
■ ランプユニットの交換手順

- プロジェクターを天井に取り付けている場合、ランプユニット近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。

- 1) 『電源を切る』(22 ページ) の手順を守り、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ちランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- 2) 本体後面の「ランプユニット収納扉固定ねじ」(1 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」を取り外す

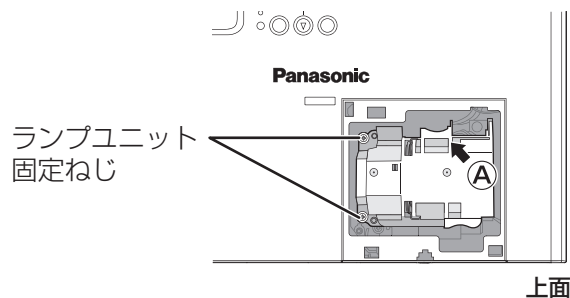


- 3) 「ランプユニット固定ねじ」(2 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと本体から引き出す



- 4) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、「ランプユニット固定ねじ」(2 本) をプラスドライバーでしっかりと締め付ける

挿入時、特に(A)部をよく押し込んでください。

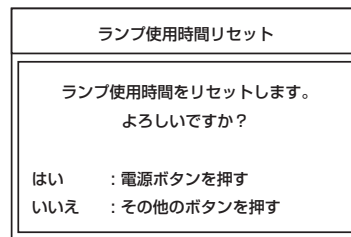


お手入れ / 部品交換 (つづき)

- 5) 「ランプユニット収納扉」を取り付け、「ランプユニット収納扉固定ねじ」(1本)をプラスドライバーでしっかりと締め付ける
- 6) 電源プラグをコンセントに差し込む
- 7) 電源ボタンを押し、映像投写を開始する

お知らせ

- 「プロジェクター設定」メニューの「起動方法」を「オンスタート」にしていると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(☞ 39 ページ)
- 8) 〈MENU〉ボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ、▲▼ボタンでカーソルを「プロジェクター設定」の項目へ移動する
 - 9) 〈ENTER〉ボタンを押し、「プロジェクター設定」画面を表示させ、▲▼ボタンで「ランプ使用時間」の項目を選択する
 - 10) 〈ENTER〉ボタンを約3秒間押し続ける
 - 「ランプ使用時間リセット」の確認画面が表示されます。



お願い

- 電源ボタン以外のボタンを押すと「ランプ使用時間リセット」画面が消え、ランプ使用時間はリセットされません。再度8)からやりなおしてください。
- 11) 電源ボタンを押し
 - ランプが消えて映像の投写が停止し、電源モニターが赤色に点灯したら、電源プラグを抜いてください。
 - ランプ使用時間が「0」にリセットされます。

故障かな!?

もう一度次の点をお調べください。
詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	19
	● コンセントに電源がきていますか。	—
	● ブレーカが落ちていませんか。	—
	● 〈温度モニター〉 または、〈ランプモニター〉 が点灯または、点滅していませんか。	46
	● 「ランプユニット収納扉」 は確実に取り付けられていますか。	49
	● 「操作設定」 の「本体操作部」 が「無効」 になっていませんか。	44
映像がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。	17、18
	● 入力切替は正しく設定されていますか。	23
	● 明るさ調整が最小になっていませんか。	30
	● 本機に接続している外部機器は正常に動作していますか。	—
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	24
	● レンズキャップが取り付けられたままではありませんか。	—
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	23
	● 投写距離は適切ですか。	15
	● レンズが汚れていませんか。	47
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	23
色が薄い / 色あいが悪い	● 「色の濃さ」、「色あい」 は正しく調整されていますか。	30
	● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。	17、18
	● 音量調整が最小になっていませんか。	25、41
	● 音声出力 (AUDIO OUT) 端子に、ケーブルが接続していませんか。	13
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	14
	● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	14
	● リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	14
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	14
	● 「操作設定」 の「リモコン」 が「無効」 になっていませんか。	44
本体操作部のボタンが働かない	● 「操作設定」 の「本体操作部」 が「無効」 になっていませんか。 (「無効」 に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部の〈ENTER〉 ボタンを押しながら 〈MENU〉 ボタンを 2 秒以上押せば設定を「有効」 に戻すことができます。)	44
正常な映像が映らない	● 「TV システム」、「RGB/YPbPr」 の選択は正しく行われていますか。	31
	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	52
コンピューターからの映像が映らない	● RGB 信号ケーブルが長くありませんか。(10 m 以下にしてください。)	—
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。 (例: 「Fn」 + 「F3」 あるいは 「Fn」 + 「F10」 キーを同時に押すと、外部出力設定が切り換わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。)	36
シリアル入力端子を使用した制御ができない	● 「プロジェクター設定」 の「エミュレート」 が正しく設定されていますか。 (切り換えができない場合は販売店にお問い合わせください。)	40

お願い

- 上記内容を確認されたあと、正常に動作しない場合は、販売店に修理をご依頼ください。(👁️ 57 ページ)

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

対応信号	解像度 (ドット) *1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質 *2	PnP 対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)				
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9	—	A		ビデオ /S ビデオ
PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50	—	A		
525i (480i)	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	A		
625i (576i)	720 × 576i	15.6	50	13.5	A		RGB/YP _B Pr
525p (480p)	720 × 483	31.5	59.9	27	A		
625p (576p)	720 × 576	31.3	50	27	A		
1 125 (1 080)/60i	1 920 × 1 080i	33.8	60	74.3	A		
1 125 (1 080)/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50	74.3	A		
1 125 (1 080)/60p	1 920 × 1 080p	67.5	60.0	148.5	A	○	
1 125 (1 080)/50p	1 920 × 1 080p	56.3	50.0	148.5	A	○	
750 (720)/60p	1 280 × 720	45	60	74.3	A		
750 (720)/50p	1 280 × 720	37.5	50	74.3	A		
VESA	640 × 400	31.5	70.1	25.2	A		
	640 × 400	37.9	85.1	31.5	A		
VGA	640 × 480	31.5	59.9	25.2	A	○	
	640 × 480	35	66.7	30.2	A	○	
	640 × 480	37.9	72.8	31.5	A	○	
	640 × 480	37.5	75	31.5	A	○	
SVGA	640 × 480	43.3	85	36	A		
	800 × 600	35.2	56.3	36	A	○	
	800 × 600	37.9	60.3	40	A	○	
	800 × 600	48.1	72.2	50	A	○	
MAC	800 × 600	46.9	75	49.5	A	○	
	800 × 600	53.7	85.1	56.3	A		
MAC	832 × 624	49.7	74.6	57.3	A	○	
XGA	1 024 × 768	39.6	50.1	51.9	AA		
	1 024 × 768	48.4	60	65	AA	○	
	1 024 × 768	56.5	70.1	75	AA	○	
	1 024 × 768	60	75	78.8	AA	○	
	1 024 × 768	68.7	85	94.5	AA		
MXGA	1 152 × 864	64	71.2	94.2	A	○	
	1 152 × 864	67.5	74.9	108	A		
	1 152 × 864	77.1	85	119.7	A		
MAC	1 152 × 870	68.7	75.1	100	A	○	
MSXGA	1 280 × 960	60	60	108	A	○	
SXGA	1 280 × 1 024	64	60	108	A		
	1 280 × 1 024	80	75	135	A	○	
	1 280 × 1 024	91.1	85	157.5	A		
SXGA60+	1 400 × 1 050	64	60	108	A		
	1 400 × 1 050	65.1	59.9	122.4	A	○	
UXGA	1 600 × 1 200	75	60	162	A	○	
WIDE750 (720)	1 280 × 720	44.8	59.9	74.5	A	○	
	1 280 × 720	37.1	49.8	60.5	A		
WXGA768	1 280 × 768	39.6	49.9	65.3	A		
	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	A	○	
WXGA800	1 280 × 800	41.3	50	68	A		
	1 280 × 800	49.1	60.2	69.1	A	○	
	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	A		
WXGA+	1 440 × 900	55.9	59.9	106.5	A	○	
WSXGA+	1 680 × 1 050	65.3	60	146.3	A	○	
WUXGA	1 920 × 1 200	74.6	59.9	193.3	B		

*1: 解像度の後ろの “i” は、インターレース信号を示しています。

*2: 画質を表す記号は下記の通りです。

AA: 最高の画質で投写できます。

A: 画像処理回路で変換を行い投写しています。

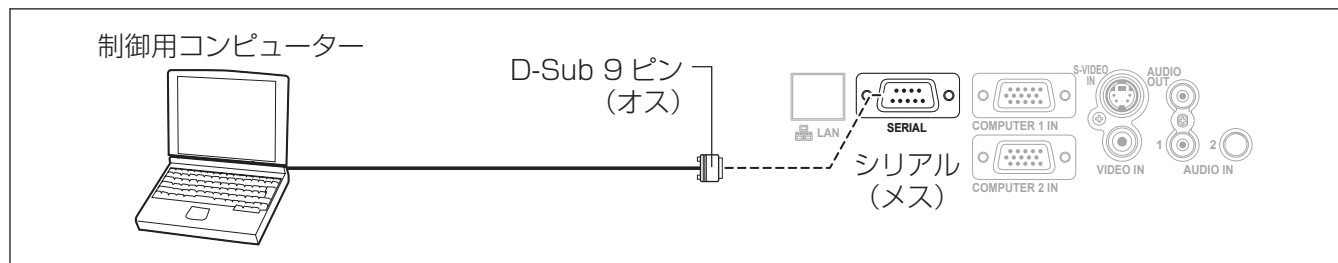
B: 画像処理回路で画素を間引いて投写します。

*3: ○印の信号はプラグアンドプレイ対応しています。

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン(外側から見た図)	ピン NO.	信号名	内容
	①		NC (何も接続されていません)
	②	TXD	送信データ
	③	RXD	受信データ
	④		NC (何も接続されていません)
	⑤	GND	グラウンド
	⑥		内部で接続されています
	⑦	RTS	
	⑧	CTS	
	⑨		NC (何も接続されていません)

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■ 基本フォーマット

<table border="1"> <tr> <td>STX</td> <td>コマンド</td> <td>:</td> <td>パラメーター</td> <td>ETX</td> </tr> <tr> <td>スタート (02 h)</td> <td>3 byte</td> <td></td> <td>1 byte ~ 4 byte</td> <td>エンド (03 h)</td> </tr> </table>	STX	コマンド	:	パラメーター	ETX	スタート (02 h)	3 byte		1 byte ~ 4 byte	エンド (03 h)	<p>コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。</p>
STX	コマンド	:	パラメーター	ETX							
スタート (02 h)	3 byte		1 byte ~ 4 byte	エンド (03 h)							

お願い

- 電源コード接続後、ランプ点灯開始後、および「PON」コマンドを送信後（スタンバイモード：「エコ」設定時）、約 10 秒間はコマンドを受信できません。必ず 10 秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（:）は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがコンピューター側に送信されます。

付録 (つづき)

■ ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉

本機側	1	NC	NC	1
	2			2
	3			3
	4	NC	NC	4
	5			5
	6			6
	7			7
	8			8
	9	NC	NC	9

コンピューター側
(DTE 仕様)

■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

〈操作コマンド〉

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	●ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ●ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 30 秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000 (調整値 0) ~ 063 (調整値 63)
IIS	入力信号切り換え	パラメーター VID = ビデオ SVD = S ビデオ RG1 = コンピューター 1 入力 RG2 = コンピューター 2 入力
Q \$\$	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに OFF/ON が切り換わります。(👁️ 24 ページ) 短時間での OFF/ON の切り換えは行わないでください。 0 = OFF 1 = ON

お知らせ

- スタンバイモードが「エコ」に設定されている場合、スタンバイ状態のときに使用できるコマンドは、PON と Q \$\$ のみです。

メニューロックパスワードについて

パスワードを初期設定に戻すには、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz (定格電流 : 3.5 A)	
消費電力	300 W (PT-LB3) 290 W (PT-LB2V/LB1V) スタンバイ時 (ただし、ファン停止時) 0.3 W (スタンバイモード : エコ) 15 W (スタンバイモード : ノーマル、音声設定 (スタンバイ時動作) : オフ) 18 W (スタンバイモード : ノーマル、音声設定 (スタンバイ時動作) : オン)	
液晶パネル	パネルサイズ	0.63 型 LCD (アスペクト比 4 : 3)
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	786 432 画素 (1 024 × 768 ドット) × 3 枚
レンズ	マニュアルズーム (1.2 倍) ・ マニュアルフォーカス F 1.64 ~ 1.87、f 18.8 mm ~ 22.56 mm (PT-LB3) F 2.0 ~ 2.2、f 19.22 mm ~ 22.68 mm (PT-LB2V/LB1V)	
光源ランプ	220 W UHM ランプ	
光出力 *1	3 200 lm (PT-LB3) 2 600 lm (PT-LB2V) 2 200 lm (PT-LB1V)	
対応走査周波数 *2 (RGB 信号時)	水平走査周波数	15 kHz ~ 91 kHz
	垂直走査周波数	50 Hz ~ 85 Hz
	ドットクロック周波数	170 MHz 以下
YP _B PR 信号	525i (480i)、525p (480p)、625i (576i)、625p (576p)、750 (720)/60p、 750 (720)/50p、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/60p、 1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/50p	
カラー方式	7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM)	
投写画面サイズ	33 型 ~ 300 型	
光軸	5 : 1 固定	
投写距離	1.1 m ~ 11.5 m (PT-LB3) 1.1 m ~ 11.7 m (PT-LB2V/LB1V)	
画面アスペクト比	4 : 3	
投写方式	フロント / 床置き、フロント / 天つり、リア / 床置き、リア / 天つり (メニュー設定方式)	
スピーカー	4 cm × 2 cm だ円型 1 個	
音声実用最大出力	1.0 W (モノラル)	
接続端子	映像入力端子	<ul style="list-style-type: none"> ● S ビデオ : 1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω ● ビデオ : 1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	コンピューター入力端子	2 系統 高密度 D-Sub 15 ピン (メス) <ul style="list-style-type: none"> ● RGB 入力時 R、G、B : 0.7 V [p-p] 75 Ω G・SYNC : 1.0 V [p-p] 75 Ω HD・VD/SYNC : TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応 ● YP_BPR YC_BCR 入力時 Y : 1.0 V [p-p] (同期信号を含む) 75 Ω P_B/C_B、P_R/C_R : 0.7 V [p-p] 75 Ω
	音声入力端子	2 系統 M3 ジャック (ステレオミニジャック) 0.5 V [rms]
	音声出力端子	1 系統 M3 ジャック (ステレオミニジャック) (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)
	シリアル端子	1 系統 D-Sub 9 ピン RS-232C 準拠 (コンピューター制御用)
	LAN 端子 (RJ-45)	1 系統 ネットワーク接続用 10Base-T/100Base-TX

*1: 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。

*2: 本機が投写できる映像信号について詳しくは (P.52 ページ) 対応信号リストをご覧ください。

仕様 (つづき)

電源コードの長さ	2.0 m	
外装ケース	樹脂成型品 (PC + ABS)	
外形寸法	<ul style="list-style-type: none"> ● 横幅 307 mm ● 高さ 69 mm ● 奥行 210 mm (突起部を除く)	
質量	約 2.3 kg *3	
使用環境条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用周囲温度 0℃～40℃ (ただし、「高地モード」(☞ 39 ページ) を「オン」に設定している場合は、0℃～35℃) ● 使用周囲湿度 20%～80% (結露のないこと) 	
〈リモコン〉	使用電源	DC 3 V (単 4 形乾電池 2 個)
	操作距離	約 7 m (受信部正面)
	質量	約 64 g (乾電池含む)
	外形寸法	<ul style="list-style-type: none"> ● 横幅 45.6 mm ● 高さ 115 mm ● 厚さ 21.4 mm
〈オプション〉	天つり金具	ET-PKB2
	高耐久 フィルター ユニット	ET-KFB2

*3: 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について

- オンスクリーンメニューに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6 ヶ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼されるとき

『故障かな!?』（☞51 ページ）や、組み合わせをされた機器の『取扱説明書』もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。
ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601** 受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL：<http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話／FAX を使用しお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話頂く際には、番号をお確かめの上、お間違えのないようにお掛けください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

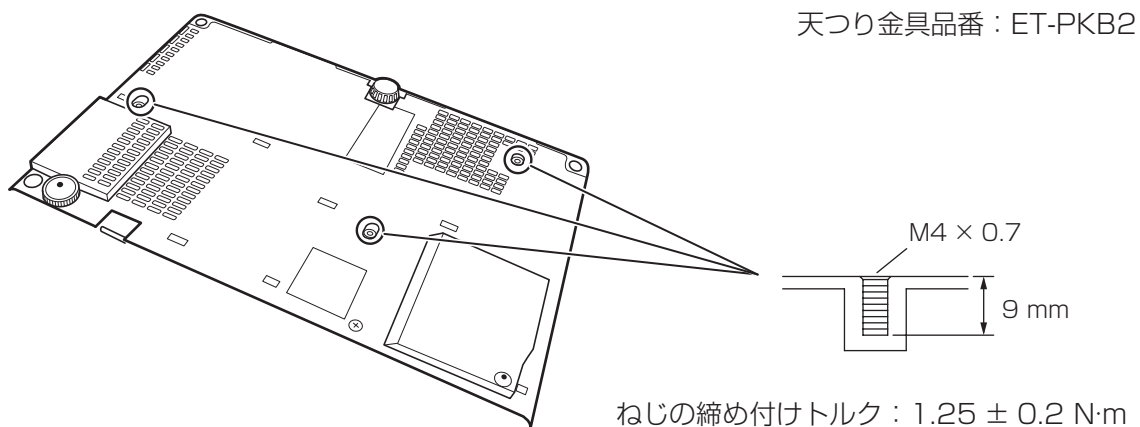
用語について

取扱説明書内の用語について説明します。

NTSC	National TV Standards Committee の略。 日本や米国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。 (走査線 525 本、30 インターレースフレーム/秒)
RGB	Red (赤)、Green (緑)、Blue (青) の光の 3 原色。プロジェクターや、モニター、カラーテレビなどでは、この 3 つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。
オーバースキャン	テレビ画面などで入力された信号の外周部を切り落として表示すること。
コンポーネントビデオ信号 (YP _B P _R)	S ビデオ信号より、さらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Y は輝度、P _B (C _B) は青系、P _R (C _R) は赤系に分けて送る色差方式の信号。
シリアル端子	プロジェクターとコンピューターを接続して、コンピューターで制御することができる通信用端子。ほとんどのコンピューターに標準で搭載されている。 本機は RS-232C (Recommended Standard 232 version C の略) に準拠。
台形ひずみ	スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると映像が台形の形にひずんで投写されること。

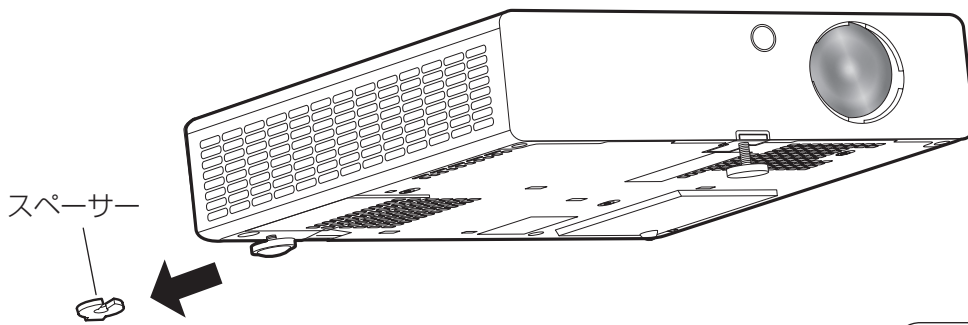
天つり金具取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内の締め付けトルクで取り付けてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具に同梱の工事説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。



後方アジャスター脚のスペーサー取り外しについて

- ご使用前にスペーサーを取り外してください。



警告

■ スペーサーは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

禁止

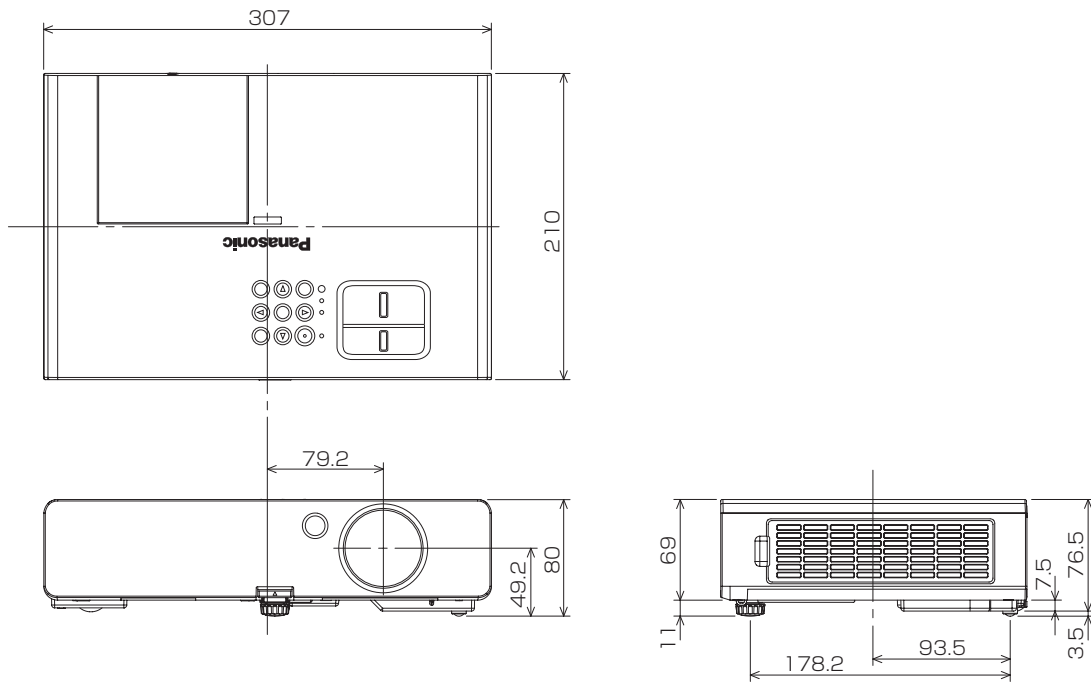
▶ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

さくいん

R			
RGB/YPbPr	31		
S			
SXGA モード	37		
T			
TV システム	31		
あ			
明るさ	30		
アスペクト	33		
アフターサービス	57		
安全上のご注意	4		
い			
「位置調整」メニュー	32		
色あい	30		
色温度設定	30		
色の濃さ	30		
インデックスウィンドウ	25		
う			
運搬上の留意点	8		
え			
映像・音声を一時的に消す	24		
「映像調整」メニュー	30		
映像の映り具合を調整する	23		
映像モード	30		
映像を一時的に静止させる	24		
映像を拡大する	26		
エミュレート	40		
お			
オーバースキャン	33		
お手入れ	47		
オンスクリーン表示	36		
オンスクリーンメニュー	27		
音声設定	41		
温度モニター	46		
音量を調整する	25		
か			
外形寸法図	裏表紙		
き			
起動方法	39		
く			
クロックフェーズ	32		
こ			
高地モード	39		
故障かな!?	51		
コントラスト	30		
さ			
サブメニュー	28		
し			
自動位置補正	37		
シフト	32		
シャープネス	30		
出荷状態に戻す	25		
仕様	55		
使用上の留意点	9		
シリアル端子	53		
す			
スタートアップロゴ	36		
スタンバイモード	40		
ステータス	39		
せ			
セキュリティに関するお願い	8		
「セキュリティ」メニュー	43		
接続する	17		
設置する	15		
設置に関する留意点	8		
設置方法	39		
全設定初期化	42		
そ			
操作設定	44		
その他の機能	38		
た			
対応信号リスト	52		
台形補正	32		
て			
デイトライトビュー	31		
テキスト設定	43		
テキスト変更	43		
テストパターン	42		
電源コードの接続	19		
電源モニター	20		
電源を入れる	21		
電源を切る	22		
と			
投写角度調整	16		
投写画面サイズと設置位置	15		
投写する	23		
投写方式	16		
ドットクロック	32		
に			
入力検出	37		
入力信号を切り換える	24		
ね			
「ネットワーク」メニュー	45		
の			
ノイズリダクション	31		
は			
廃棄について	9		
はじめにお読みください	11		
パスワード設定	43		
パスワード変更	43		
バックカラー	37		
ひ			
表示位置を自動補正する	25		
「表示オプション」メニュー	36		
「表示言語」メニュー	35		
ふ			
ファンクションボタン	26, 41		
付属品の確認	10		
部品交換	48		
フレームロック	34		
「プロジェクター設定」メニュー	39		
ほ			
保証	57		
ホワイトバランス	30		
本体 各部の名称とはたらき	12		
む			
無信号自動オフ	39		
め			
メインメニュー	28		
メニュー画面の操作方法	27		
メニューロック	44		
メニューロックパスワード	44, 54		
も			
もくじ	2		
モニターが点灯したら	46		
よ			
用語	58		
ら			
ランプ使用時間	40		
ランプパワー	40		
ランプモニター	46		
り			
リアルタイム台形補正	32		
リモコン 各部の名称とはたらき	14		
わ			
ワイドモード	37		

外形寸法図

〈単位：mm〉



愛情点検		長年ご使用のプロジェクトターの点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源「入」時以外にジージー・パチパチと異常な音がある。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が連続してチラついたり、ユレたりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 	<p>ご使用中止</p>	<p>故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年	月	日	品番	PT-LB3 PT-LB2V PT-LB1V
販売店名	電話 ()		-		
お客様ご相談窓口	電話 ()		-		

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601

© Panasonic Corporation 2011